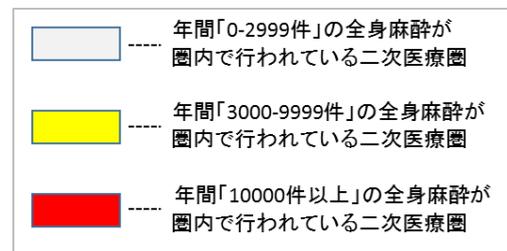
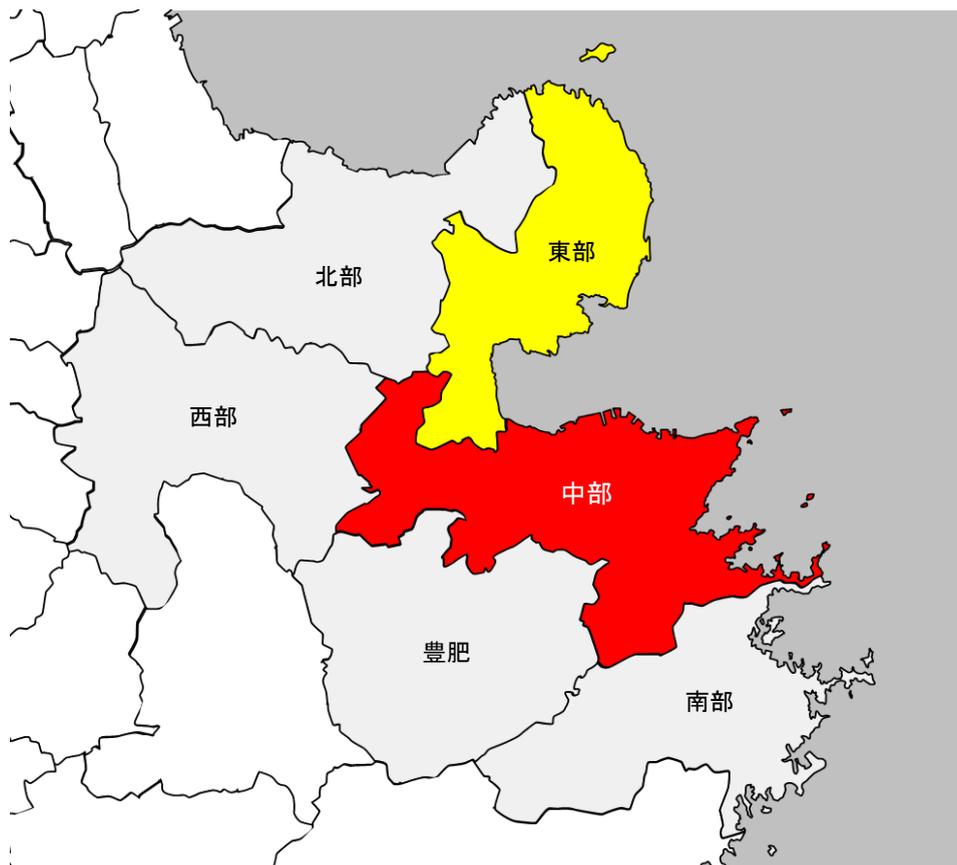


44. 大分県

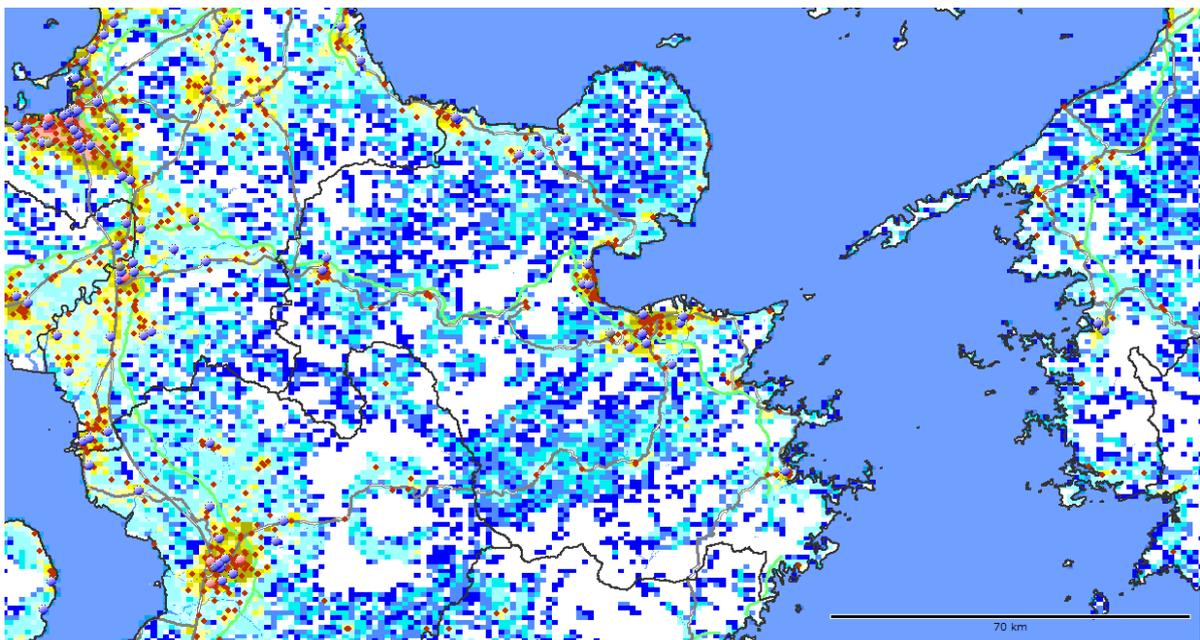


目次

大分県	44	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	44	-	8
1. 東部医療圏	44	-	20
2. 中部医療圏	44	-	25
3. 南部医療圏	44	-	30
4. 豊肥医療圏	44	-	35
5. 西部医療圏	44	-	40
6. 北部医療圏	44	-	45

44. 大分県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(大分県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大分県は、総人口約1,166千人(2015年)、面積6,341km²、人口密度は184人/km²である。

*人口の将来予測： 大分県の総人口は2025年に1,089千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に947千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の184千人が、2025年にかけて225千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には224千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大分県の一人当たり医療費(国保)は414千円(偏差値66)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大分県の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は0.97で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大分県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16,647人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,844床(偏差値48)、高齢者住宅等が5,803床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,637人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム44、軽費ホーム48、グループホーム47、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,593人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

大分県の総人口は、2005年1,209,571人が、2015年に1,166,338人と4%減少し、2025年の人口が1,089,084人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

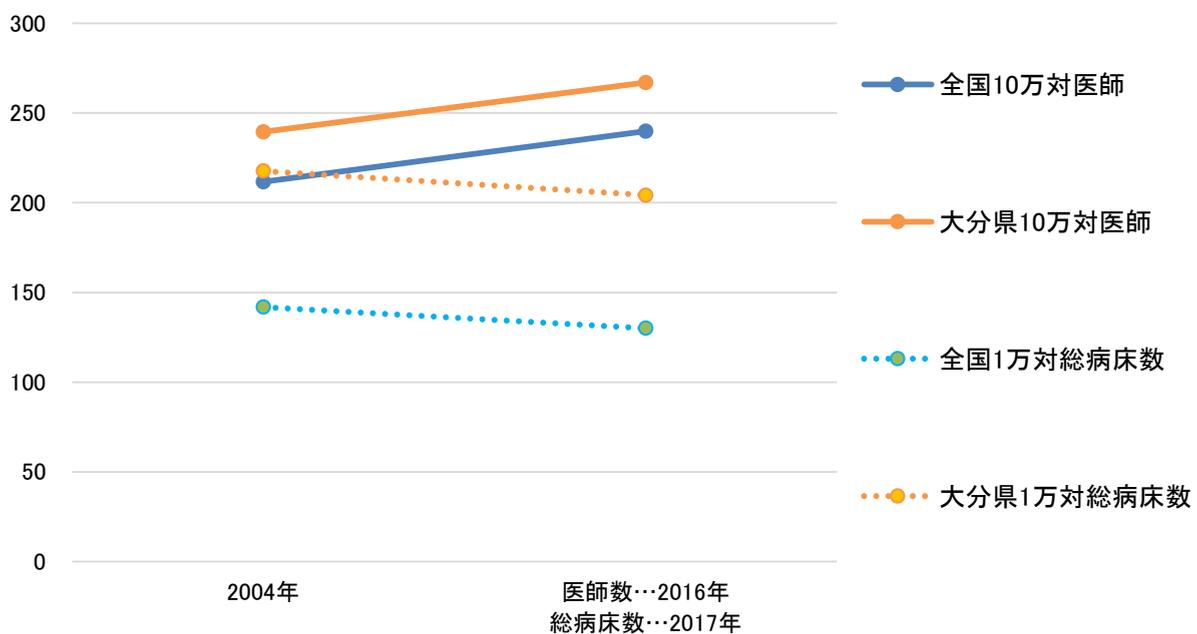
2004年の病院数が165(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2017年に157(人口10万人当たり13.5病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、13年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が971(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2017年に965(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が26,328床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2017年に23,819床(人口1万人当たり204(全国平均130)偏差値64)と、2,509床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

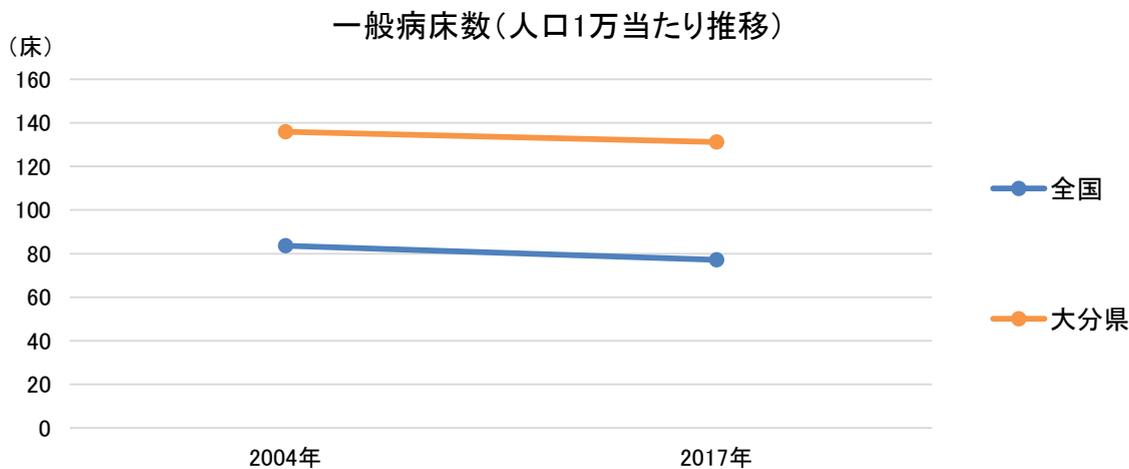
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,898人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に3,115人(人口10万人当たり267人(全国平均240人)偏差値53)と、217人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



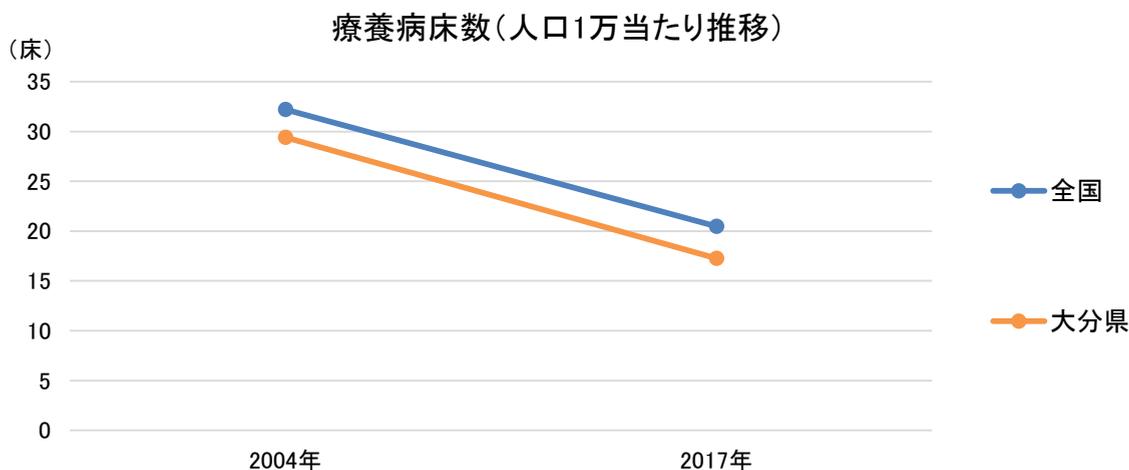
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16,436床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2017年に15,313床(人口1万人当たり131(全国平均77)偏差値71)と、1,123床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



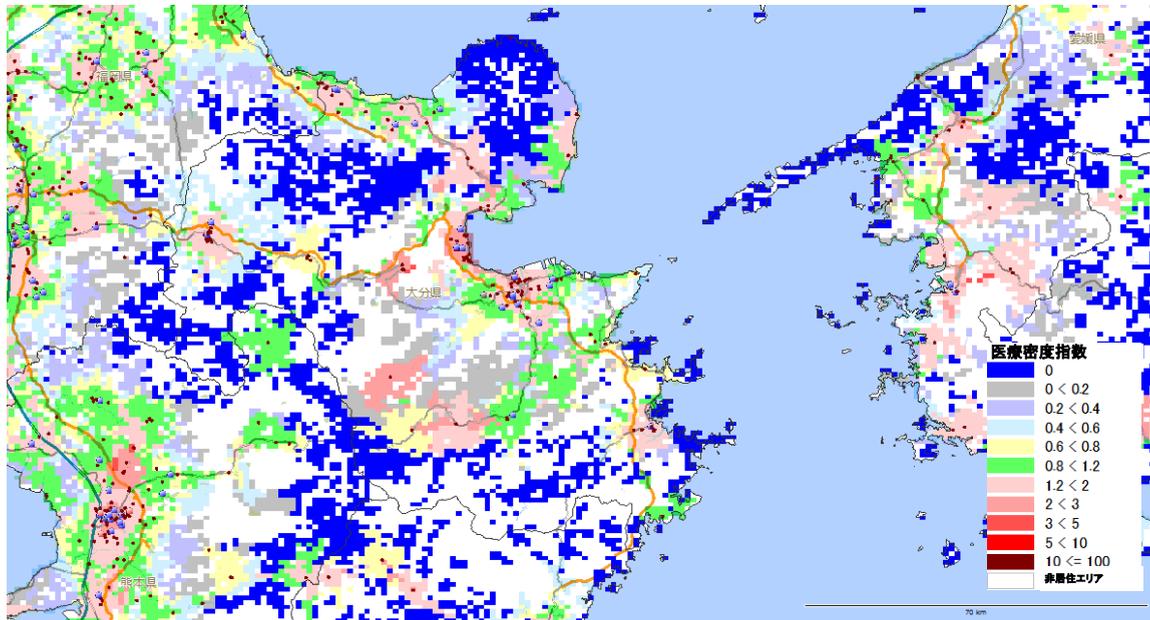
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,224床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2017年に3,169床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、1055床の減少、率にして25%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



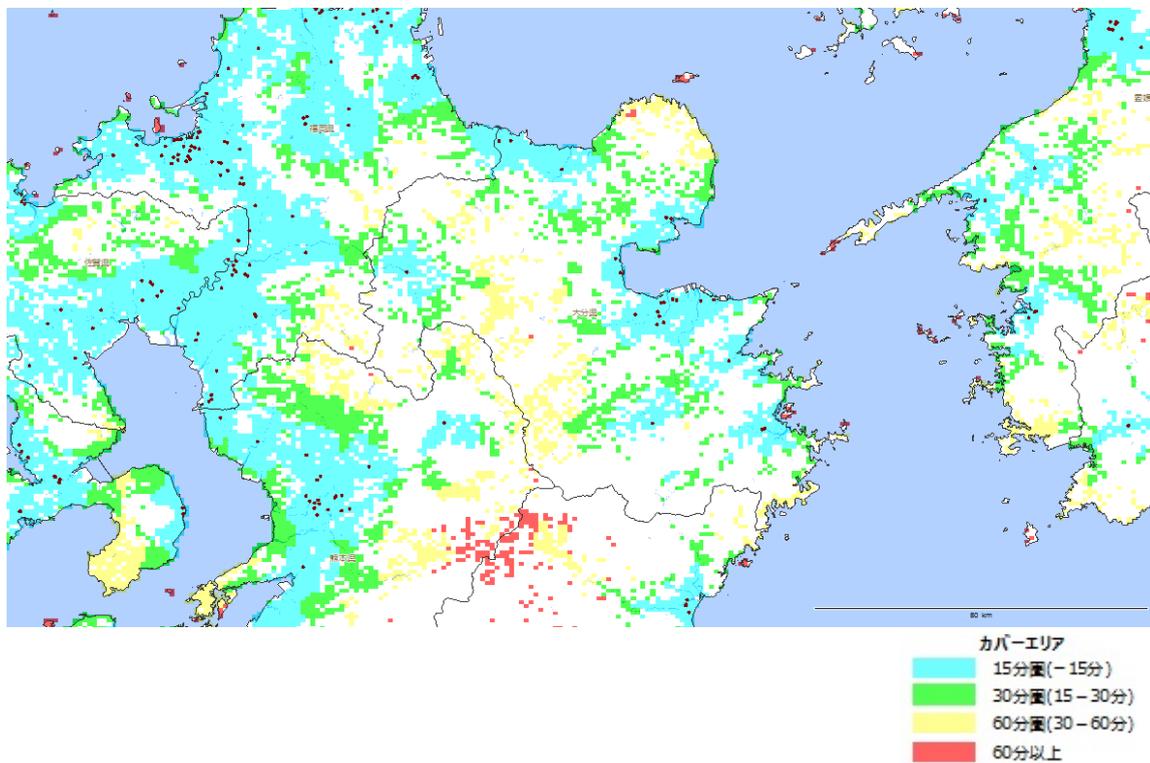
(大分県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
大分県	1,166	33位	6,341	22位	183.9		30%	1,089	947	184	225	224	-7%	-13%	22%	0%
東部	211	18%	804	13%	262.5	地方都市型	33%	192	161	37	43	40	-9%	-16%	16%	-7%
中部	569	49%	1,192	19%	477.3	地方都市型	27%	556	511	72	102	111	-2%	-8%	42%	9%
南部	72	6%	903	14%	80.0	過疎地域型	37%	62	47	14	16	14	-14%	-24%	14%	-13%
豊肥	59	5%	1,081	17%	54.5	過疎地域型	42%	49	37	15	15	13	-17%	-24%	0%	-13%
西部	92	8%	1,224	19%	75.2	過疎地域型	34%	79	59	17	18	17	-14%	-25%	6%	-6%
北部	163	14%	1,137	18%	143.4	過疎地域型	32%	152	132	28	31	29	-7%	-13%	11%	-6%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 44-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
大分県	1.24	0.97	14,559	18,049	-24.0%
東部	1.80	0.59	3,437	3,417	0.6%
中部	1.28	1.12	5,330	8,067	-51.4%
南部	1.05	0.97	1,146	1,342	-17.1%
豊肥	0.87	1.13	1,268	1,242	2.1%
西部	0.76	1.28	1,204	1,527	-26.8%
北部	0.86	1.27	2,174	2,453	-12.9%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 44-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
大分県	414	66	1.144	188	68	1.354	204	59	1.035	263	53
東部	403	63	1.138	190	69	1.398	192	52	0.997	256	51
中部	419	67	1.157	186	67	1.335	211	63	1.069	262	53
南部	406	64	1.091	185	67	1.289	199	56	0.983	242	47
豊肥	447	73	1.166	205	74	1.383	222	69	1.065	315	68
西部	400	62	1.111	183	66	1.312	198	55	1.009	274	56
北部	415	66	1.117	192	69	1.339	201	57	0.993	256	51
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 44-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
大分県	1,017	58	1.106	568	61	1.225	423	49	1.004
東部	1,054	61	1.146	612	66	1.314	415	47	0.985
中部	1,030	59	1.131	552	59	1.205	450	56	1.072
南部	970	54	1.053	556	60	1.193	391	41	0.926
豊肥	1,025	59	1.106	565	61	1.182	442	54	1.059
西部	985	55	1.071	588	63	1.257	374	37	0.894
北部	974	55	1.058	552	60	1.184	398	43	0.946
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 44-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
大分県	157	1.9%	13.5	65	965	1.0%	83	52
東部	36	23%	17.1	73	188	19%	89	55
中部	62	39%	10.9	59	458	47%	80	50
南部	8	5%	11.1	60	60	6%	83	52
豊肥	7	4%	11.9	62	56	6%	95	58
西部	20	13%	21.7	83	73	8%	79	50
北部	24	15%	14.7	68	130	13%	80	50
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 44-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
大分県	965	1.0%	83	52	718	0.8%	62	43	247	3.4%	21.2	76
東部	188	19%	89	55	136	19%	64	45	52	21%	24.6	82
中部	458	47%	80	50	342	48%	60	42	116	47%	20.4	75
南部	60	6%	83	52	50	7%	69	47	10	4%	13.8	64
豊肥	56	6%	95	58	43	6%	73	49	13	5%	22.1	78
西部	73	8%	79	50	48	7%	52	38	25	10%	27.2	86
北部	130	13%	80	50	99	14%	61	43	31	13%	19.0	72
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 44-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
大分県	20,006	1.3%	1,715	60	3,813	3.9%	327	76	23,819	1.4%	2,042	64
東部	4,723	24%	2,238	71	809	21%	383	82	5,532	23%	2,622	75
中部	9,044	45%	1,589	58	1,799	47%	316	75	10,843	46%	1,905	61
南部	1,250	6%	1,731	61	139	4%	192	62	1,389	6%	1,924	62
豊肥	873	4%	1,482	55	230	6%	390	83	1,103	5%	1,872	61
西部	1,580	8%	1,718	60	335	9%	364	80	1,915	8%	2,082	65
北部	2,536	13%	1,555	57	501	13%	307	74	3,037	13%	1,862	60
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 44-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
大分県	11,813	1.3%	1,013	64	2,856	0.9%	245	49	5,247	1.6%	450	59
東部	2,815	24%	1,334	78	1,000	35%	474	61	850	16%	403	57
中部	5,503	47%	967	62	675	24%	119	43	2,850	54%	501	61
南部	799	7%	1,106	68	267	9%	370	56	180	3%	249	49
豊肥	500	4%	849	57	157	5%	266	51	212	4%	360	55
西部	768	7%	835	56	241	8%	262	50	567	11%	616	67
北部	1,428	12%	876	58	516	18%	316	53	588	11%	361	55
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 44-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病棟				地域包括ケア病棟			
	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
大分県	1,256	1.6%	108	59	1,484	2.0%	127	61
東部	341	27%	162	71	309	21%	146	64
中部	534	43%	94	57	566	38%	99	57
南部	125	10%	173	74	134	9%	186	70
豊肥	59	5%	100	58	73	5%	124	60
西部	131	10%	142	67	170	11%	185	70
北部	66	5%	40	45	232	16%	142	63
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 44-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
大分県	4,703	4,286	269	15,224	7,641	2,397	35.9%	47	10.1%	52
東部	1,885	1,677	110	2,687	1,160	717	59.1%	56	13.3%	54
中部	2,109	1,947	120	6,992	3,607	564	35.1%	46	17.5%	55
南部	260	256	0	990	543	267	32.0%	45	0.0%	48
豊肥	199	156	39	674	344	118	31.2%	45	24.8%	59
西部	0	0	0	1,580	768	241	0.0%	33	0.0%	48
北部	250	250	0	2,301	1,219	490	17.0%	40	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 44-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
大分県	22,404	0.6%	1,921	45	7,920	0.9%	679	48
東部	3,672	16%	1,740	45	1,896	24%	898	57
中部	13,992	62%	2,459	47	3,780	48%	664	48
南部	384	2%	532	40	480	6%	665	48
豊肥	588	3%	998	42	324	4%	550	43
西部	1,080	5%	1,174	42	660	8%	717	50
北部	2,688	12%	1,648	44	780	10%	478	41
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 44-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
大分県	3,115	1.0%	267	53	2,081	1.0%	178	53	1,034	1.0%	89	53
東部	659	21%	312	58	463	22%	219	58	196	19%	93	55
中部	1,741	56%	306	57	1,191	57%	209	57	550	53%	97	57
南部	131	4%	181	43	84	4%	116	44	47	5%	65	43
豊肥	113	4%	192	45	63	3%	107	43	50	5%	85	52
西部	154	5%	167	42	93	4%	101	42	61	6%	66	44
北部	317	10%	194	45	187	9%	115	44	130	13%	80	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 44-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
大分県	205	0.9%	17.6	50	131	1.0%	11.2	51	98	0.9%	8.4	49
東部	37	18%	17.5	50	28	21%	13.3	55	15	15%	7.1	46
中部	124	60%	21.8	54	80	61%	14.1	57	61	62%	10.7	55
南部	8	4%	11.1	43	5	4%	6.9	42	4	4%	5.5	42
豊肥	9	4%	15.3	47	5	4%	8.5	45	2	2%	3.4	36
西部	8	4%	8.7	40	3	2%	3.3	34	8	8%	8.7	50
北部	19	9%	11.7	43	10	8%	6.1	40	8	8%	4.9	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 44-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
大分県	49	0.9%	4.2	49	82	0.8%	7.0	48	57	0.7%	4.9	46
東部	9	18%	4.3	49	18	22%	8.5	52	8	14%	3.8	41
中部	27	55%	4.7	52	45	55%	7.9	51	37	65%	6.5	52
南部	1	2%	1.4	36	5	6%	6.9	48	1	2%	1.4	32
豊肥	2	4%	3.4	45	3	4%	5.1	42	2	4%	3.4	40
西部	3	6%	3.3	45	5	6%	5.4	43	3	5%	3.3	39
北部	7	14%	4.3	49	6	7%	3.7	38	6	11%	3.7	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 44-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
大分県	100	1.1%	8.6	54	243	1.1%	20.8	56	183	1.1%	15.7	56
東部	16	16%	7.6	51	53	22%	25.1	62	41	22%	19.4	64
中部	58	58%	10.2	59	126	52%	22.1	58	94	51%	16.5	58
南部	4	4%	5.5	45	11	5%	15.2	48	11	6%	15.2	55
豊肥	3	3%	5.1	44	11	5%	18.7	53	8	4%	13.6	51
西部	8	8%	8.7	54	13	5%	14.1	46	12	7%	13.0	50
北部	11	11%	6.7	49	29	12%	17.8	52	17	9%	10.4	45
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 44-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
大分県	68	1.1%	5.8	55	72	1.1%	6.2	54	70	1.2%	6.0	55
東部	11	16%	5.2	52	11	15%	5.2	50	20	29%	9.5	66
中部	42	62%	7.4	63	42	58%	7.4	59	36	51%	6.3	56
南部	4	6%	5.5	54	6	8%	8.3	63	2	3%	2.8	44
豊肥	1	1%	1.7	36	1	1%	1.7	35	1	1%	1.7	41
西部	2	3%	2.2	38	5	7%	5.4	50	3	4%	3.3	46
北部	8	12%	4.9	51	7	10%	4.3	46	8	11%	4.9	51
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 44-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
大分県	81	1.1%	6.9	54	14	0.9%	1.2	49	32	0.8%	2.7	49
東部	16	20%	7.6	56	4	29%	1.9	56	7	22%	3.3	52
中部	52	64%	9.1	61	7	50%	1.2	50	23	72%	4.0	55
南部	2	2%	2.8	41	1	7%	1.4	51	0	0%	0	34
豊肥	3	4%	5.1	48	0	0%	0	37	0	0%	0	34
西部	4	5%	4.3	46	0	0%	0	37	1	3%	1.1	40
北部	4	5%	2.5	40	2	14%	1.2	50	1	3%	0.6	38
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 44-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
大分県	20	0.9%	1.7	50	30	1.2%	2.6	54
東部	4	20%	1.9	52	8	27%	3.8	63
中部	14	70%	2.5	56	18	60%	3.2	58
南部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
豊肥	1	5%	1.7	50	0	0%	0	36
西部	1	5%	1.1	45	3	10%	3.3	59
北部	0	0%	0	37	1	3%	0.6	40

出典 平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月

資_図表 44-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
大分県	15,244	1.3%	1,307	64	12,081	1.3%	1,036	63	3,163	1.4%	271	63
東部	3,570	23%	1,692	78	2,933	24%	1,390	77	638	20%	302	67
中部	7,108	47%	1,249	62	5,457	45%	959	60	1,651	52%	290	66
南部	924	6%	1,279	63	803	7%	1,112	66	120	4%	167	48
豊肥	703	5%	1,193	60	537	4%	911	58	166	5%	281	65
西部	1,132	7%	1,230	61	888	7%	965	60	244	8%	265	62
北部	1,809	12%	1,109	57	1,464	12%	898	57	344	11%	211	55

出典 病院看護師数と診療所看護師数の合計 平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

診療所看護師数 平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

資_図表 44-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
大分県	2,379	1.7%	204	67	2,221	0.7%	190	45
東部	553	23%	262	77	415	19%	197	46
中部	1,069	45%	188	64	1,191	54%	209	47
南部	160	7%	221	69	110	5%	152	41
豊肥	145	6%	246	74	91	4%	154	42
西部	213	9%	232	71	134	6%	146	41
北部	239	10%	146	56	280	13%	172	43

出典 平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

薬剤師数 平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月

資_図表 44-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
大分県	192	1.3%	1.0	54	29	2.1%	0.2	60	127	1.2%	0.7	51
東部	35	18%	0.9	52	6	21%	0.2	61	32	25%	0.9	59
中部	115	60%	1.6	66	13	45%	0.2	63	55	43%	0.8	54
南部	8	4%	0.6	43	1	3%	0.1	48	8	6%	0.6	45
豊肥	16	8%	1.1	54	3	10%	0.2	66	7	6%	0.5	41
西部	6	3%	0.3	38	4	14%	0.2	71	6	5%	0.3	35
北部	12	6%	0.4	40	2	7%	0.1	48	19	15%	0.7	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 44-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
大分県	16,647	1.0%	91	42	10,844	1.1%	59	48	5,803	0.8%	32	43
東部	3,935	24%	106	51	2,441	23%	66	54	1,494	26%	40	49
中部	6,298	38%	87	40	3,961	37%	55	45	2,337	40%	32	43
南部	1,333	8%	92	43	758	7%	53	43	575	10%	40	48
豊肥	1,289	8%	86	39	1,017	9%	68	55	272	5%	18	34
西部	1,300	8%	76	33	996	9%	58	47	304	5%	18	34
北部	2,492	15%	90	42	1,671	15%	61	49	821	14%	30	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 44-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
大分県	4,782	1.3%	26	56	5,552	1.0%	30	45	510	0.9%	2.8	48
東部	952	20%	26	55	1,221	22%	33	48	268	53%	7.2	59
中部	1,861	39%	26	56	2,046	37%	28	43	54	11%	0.7	43
南部	358	7%	25	54	400	7%	28	42	0	0%	0	41
豊肥	491	10%	33	68	484	9%	32	47	42	8%	2.8	48
西部	411	9%	24	52	555	10%	32	47	30	6%	1.7	45
北部	709	15%	26	56	846	15%	31	45	116	23%	4.2	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
大分県	1,517	0.6%	8.3	44	170	0.7%	0.9	48	1,950	1.0%	10.6	47
東部	462	30%	12.5	48	150	88%	4.0	62	306	16%	8.2	43
中部	550	36%	7.6	44	20	12%	0.3	45	799	41%	11.0	48
南部	163	11%	11.3	47	0	0%	0	43	225	12%	15.6	56
豊肥	48	3%	3.2	40	0	0%	0	43	203	10%	13.5	52
西部	100	7%	5.8	42	0	0%	0	43	108	6%	6.3	40
北部	194	13%	7.0	43	0	0%	0	43	309	16%	11.2	48
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定施設)	サ高住(特定施設)			サ高住 (非特定施設)	サ高住(非特定施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
大分県	2,166	0.9%	11.8	47	78	0.4%	0.4	45	2,088	1.0%	11.4	48	
東部	576	27%	15.5	52	78	100%	2.1	54	498	24%	13.4	51	
中部	968	45%	13.4	49	0	0%	0	43	968	46%	13.4	51	
南部	187	9%	13.0	48	0	0%	0	43	187	9%	13.0	50	
豊肥	21	1%	1.4	32	0	0%	0	43	21	1%	1.4	33	
西部	96	4%	5.6	38	0	0%	0	43	96	5%	5.6	39	
北部	318	15%	11.5	46	0	0%	0	43	318	15%	11.5	48	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 44-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護						
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
大分県	1,955	1.1%	10.6	51	1,406	1.2%	7.7	51	549	1.1%	3.0	48
東部	459	24%	12.4	58	331	24%	8.9	58	128	23%	3.5	53
中部	771	39%	10.7	51	486	35%	6.7	47	286	52%	3.9	57
南部	115	6%	7.9	39	92	7%	6.4	45	23	4%	1.6	35
豊肥	169	9%	11.3	53	138	10%	9.2	59	31	6%	2.0	40
西部	141	7%	8.2	40	123	9%	7.2	49	17	3%	1.0	30
北部	300	15%	10.9	52	235	17%	8.5	56	65	12%	2.4	43
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
大分県	16,230	1.1%	88	47	13,637	1.1%	74	46	2,593	1.2%	14.1	51
東部	2,996	18%	81	41	2,601	19%	70	42	395	15%	10.6	45
中部	6,901	43%	95	52	5,701	42%	79	50	1,200	46%	16.6	55
南部	1,224	8%	85	44	966	7%	67	39	258	10%	17.9	58
豊肥	1,222	8%	82	41	1,066	8%	71	43	155	6%	10.4	44
西部	1,533	9%	89	47	1,314	10%	76	48	220	8%	12.8	49
北部	2,355	15%	85	44	1,990	15%	72	44	365	14%	13.3	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
大分県	12,726	1.0%	69	48	4,017	0.8%	22	43	16,238	1.3%	88	55
東部	2,600	20%	70	49	911	23%	25	45	2,077	13%	56	43
中部	7,055	55%	97	56	1,988	49%	27	47	8,981	55%	124	69
南部	524	4%	36	39	228	6%	16	38	999	6%	69	48
豊肥	747	6%	50	43	250	6%	17	39	925	6%	62	45
西部	500	4%	29	37	203	5%	12	35	967	6%	56	43
北部	1,300	10%	47	42	437	11%	16	38	2,289	14%	83	53
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
大分県		1,209,571	1,166,338	-4%	1,089,084	-10%	8%	2%	10%
東部	地方都市型	224,841	211,019	-6%	191,531	-15%	5%	-2%	3%
中部	地方都市型	562,511	569,125	1%	556,069	-1%	15%	9%	25%
南部	過疎地域型	80,297	72,211	-10%	62,020	-23%	3%	-5%	-1%
豊肥	過疎地域型	68,082	58,916	-13%	49,359	-28%	-4%	-9%	-13%
西部	過疎地域型	103,549	91,991	-11%	78,592	-24%	0%	-6%	-6%
北部	過疎地域型	170,291	163,076	-4%	151,513	-11%	4%	-1%	3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 44-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
大分県	165	13.6	67	157	13.5	65	-8	-5%
東部	37	16.5	74	36	17.1	73	-1	-3%
中部	65	11.6	62	62	10.9	59	-3	-5%
南部	9	11.2	61	8	11.1	60	-1	-11%
豊肥	9	13.2	66	7	11.9	62	-2	-22%
西部	21	20.3	84	20	21.7	83	-1	-5%
北部	24	14.1	68	24	14.7	68	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 44-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
大分県	971	80	52	965	83	52	-6	-1%
東部	199	89	56	188	89	55	-11	-6%
中部	430	76	50	458	80	50	28	7%
南部	63	78	51	60	83	52	-3	-5%
豊肥	58	85	55	56	95	58	-2	-3%
西部	79	76	50	73	79	50	-6	-8%
北部	142	83	54	130	80	50	-12	-8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 44-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
大分県	2,898	240	53	3,115	267	53	217	7%
東部	618	275	58	659	312	58	41	7%
中部	1,523	271	57	1,741	306	57	218	14%
南部	150	187	47	131	181	43	-19	-13%
豊肥	128	188	47	113	192	45	-15	-12%
西部	151	146	42	154	167	42	3	2%
北部	328	193	48	317	194	45	-11	-3%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 44-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
大分県	26,328	218	64	23,819	204	64	-2,509	-10%
東部	6,512	290	76	5,532	262	75	-980	-15%
中部	11,646	207	62	10,843	191	61	-803	-7%
南部	1,518	189	58	1,389	192	62	-129	-8%
豊肥	1,233	181	57	1,103	187	61	-130	-11%
西部	2,069	200	60	1,915	208	65	-154	-7%
北部	3,350	197	60	3,037	186	60	-313	-9%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 44-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
大分県	16,436	136	68	15,313	131	71	-1,123	-7%
東部	3,878	172	81	3,534	167	85	-344	-9%
中部	7,417	132	67	7,207	127	69	-210	-3%
南部	1,029	128	66	938	130	70	-91	-9%
豊肥	787	116	61	711	121	67	-76	-10%
西部	1,235	119	63	1,077	117	65	-158	-13%
北部	2,090	123	64	1,846	113	64	-244	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 44-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

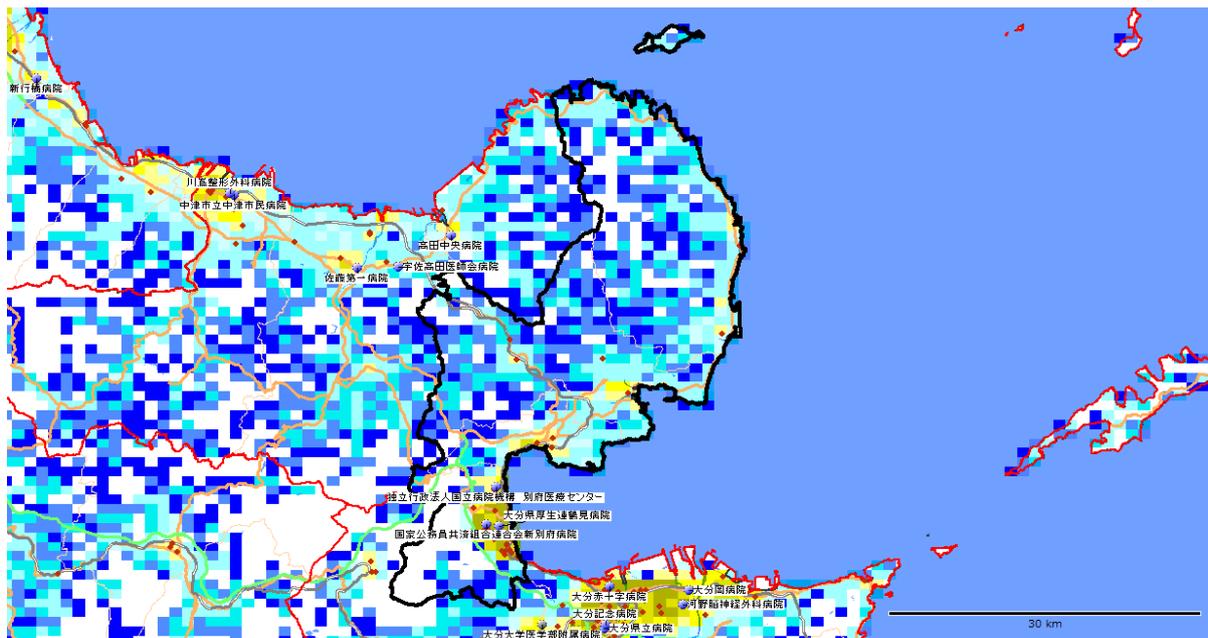
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
大分県	4,224	29	48	3,169	17	47	-1,055	-25%
東部	1,421	47	59	1,090	29	58	-331	-23%
中部	1,368	27	47	770	11	41	-598	-44%
南部	261	23	45	267	19	48	6	2%
豊肥	230	17	42	176	12	42	-54	-23%
西部	263	18	42	267	16	46	4	2%
北部	681	29	48	599	22	51	-82	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

44-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村 [別府市](#) [杵築市](#) [国東市](#) [姫島村](#)
[日出町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 東部(別府市)は、総人口約211千人(2015年)、面積804km²、人口密度は263人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に192千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に161千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて43千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には40千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は403千円(偏差値63)、介護給付費は256千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数は1.8、一人当たり慢性期医療密度指数は0.59で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が58(病院医師数58、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は78で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0別府医療センター(Ⅲ群)、500例以上の鶴見病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値77と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,935人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,441床(偏差値54)、高齢者住宅等が1,494床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,601人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム48、軽費ホーム62、グループホーム43、サ高住52である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、395人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(東部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年224,841人が、2015年に211,019人と6%減少し、2025年の人口が191,531人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

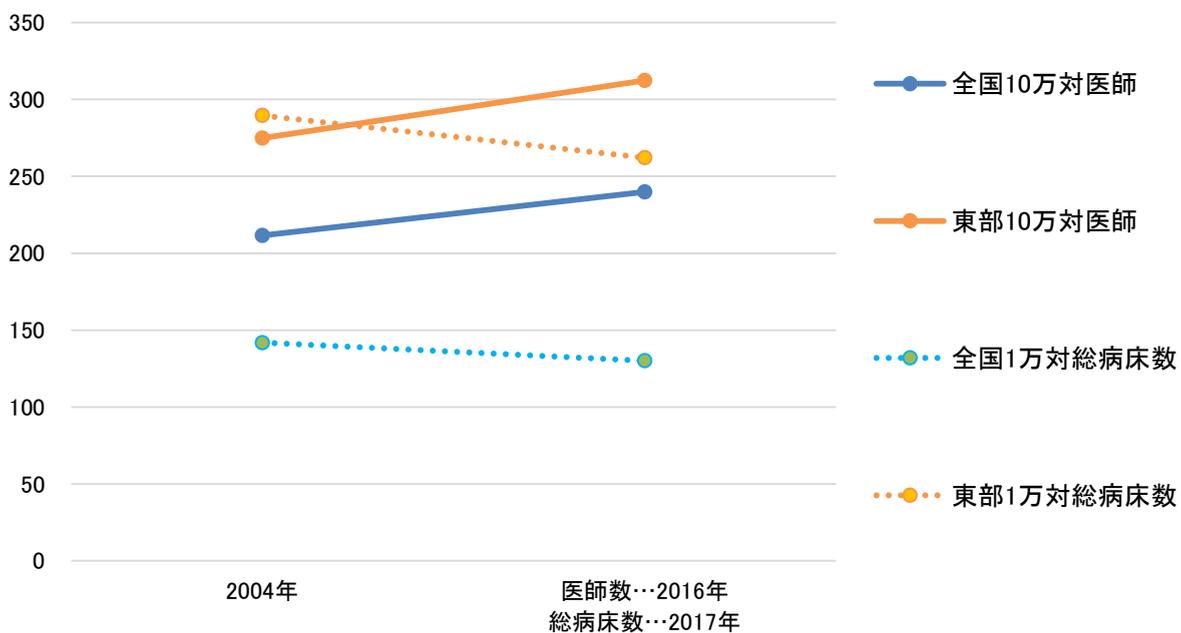
2004年の病院数が37(人口10万人当たり16.5病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2017年に36(人口10万人当たり17.1病院(全国平均6.6)偏差値73)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が199(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2017年に188(人口10万人当たり89診療所(全国平均80)偏差値55)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が6,512床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2017年に5,532床(人口1万人当たり262(全国平均130)偏差値75)と、980床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

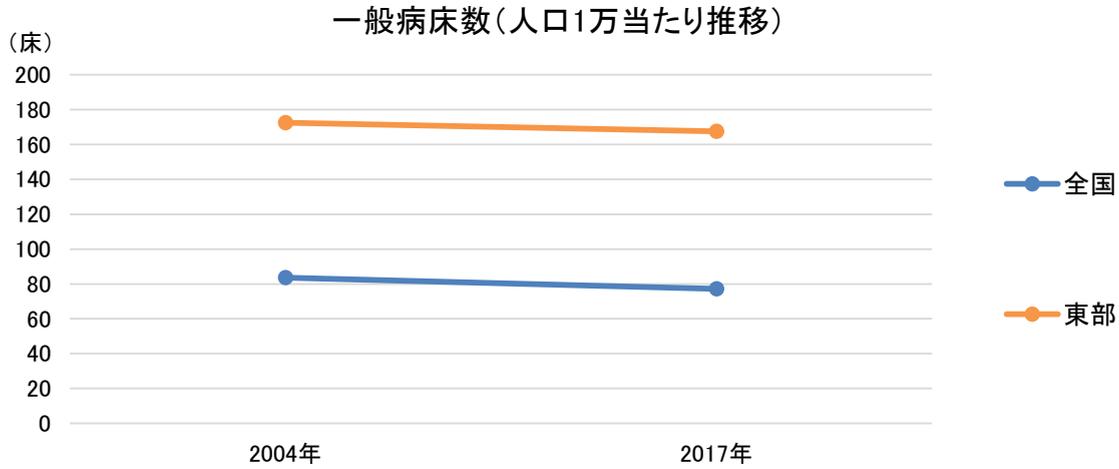
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が618人(人口10万人当たり275人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2016年に659人(人口10万人当たり312人(全国平均240人)偏差値58)と、41人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



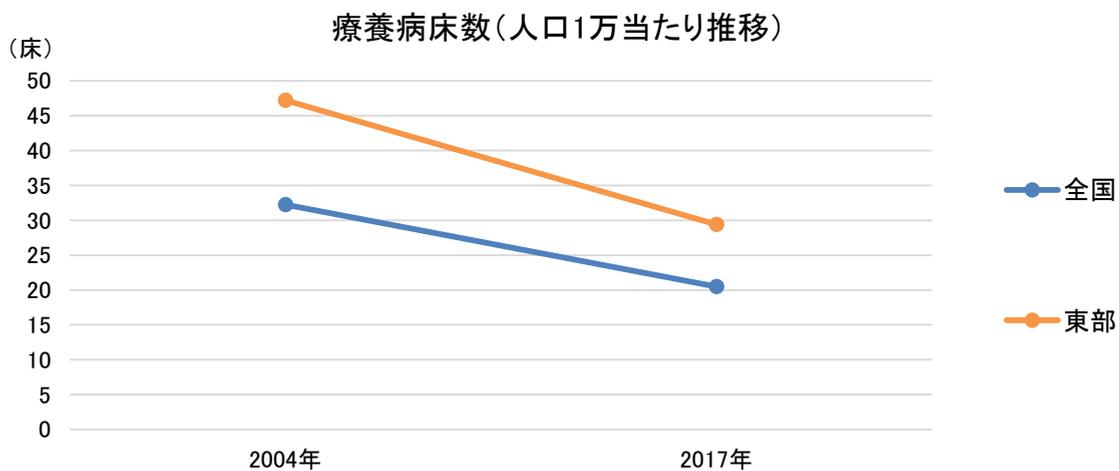
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,878床(人口1万人当たり172(全国平均84)偏差値81)であったが、2017年に3,534床(人口1万人当たり167(全国平均77)偏差値85)と、344床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



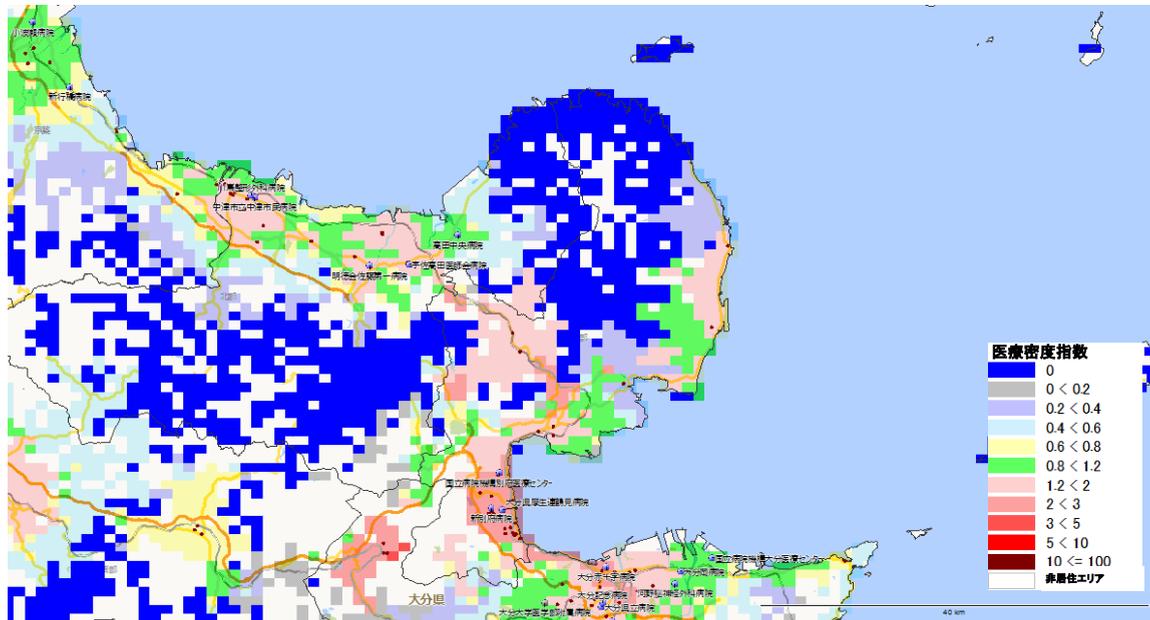
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,421床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2017年に1,090床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均20)偏差値58)と、331床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



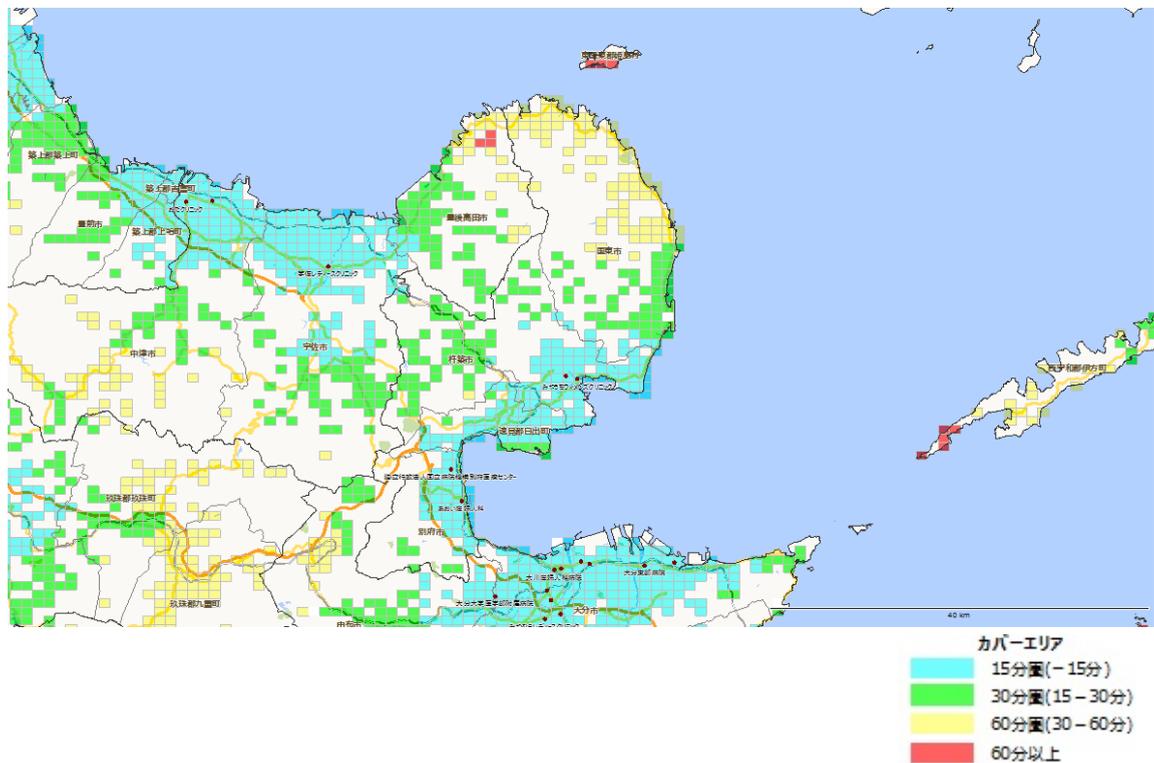
(東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

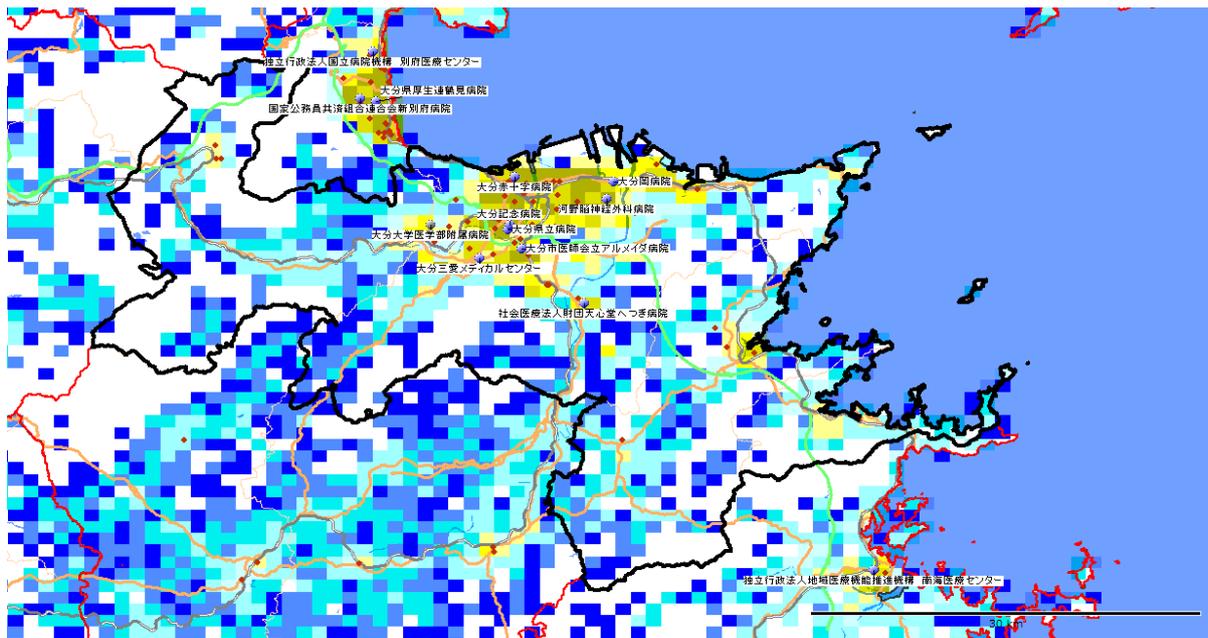


44-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村 [大分市](#) [臼杵市](#) [津久見市](#) [由布市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(大分市)は、総人口約569千人(2015年)、面積1,192km²、人口密度は477人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に556千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に511千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて102千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には111千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は419千円(偏差値67)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数は1.28、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数57、診療所医師数57)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大分県立病院(Ⅲ群・救命)、大分大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のアルメイダ病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の大分赤十字病院(Ⅲ群)、大分岡病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,298人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,961床(偏差値45)、高齢者住宅等が2,337床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,701人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム44、軽費ホーム45、グループホーム48、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,200人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年562,511人が、2015年に569,125人と1%増加し、2025年の人口が556,069人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

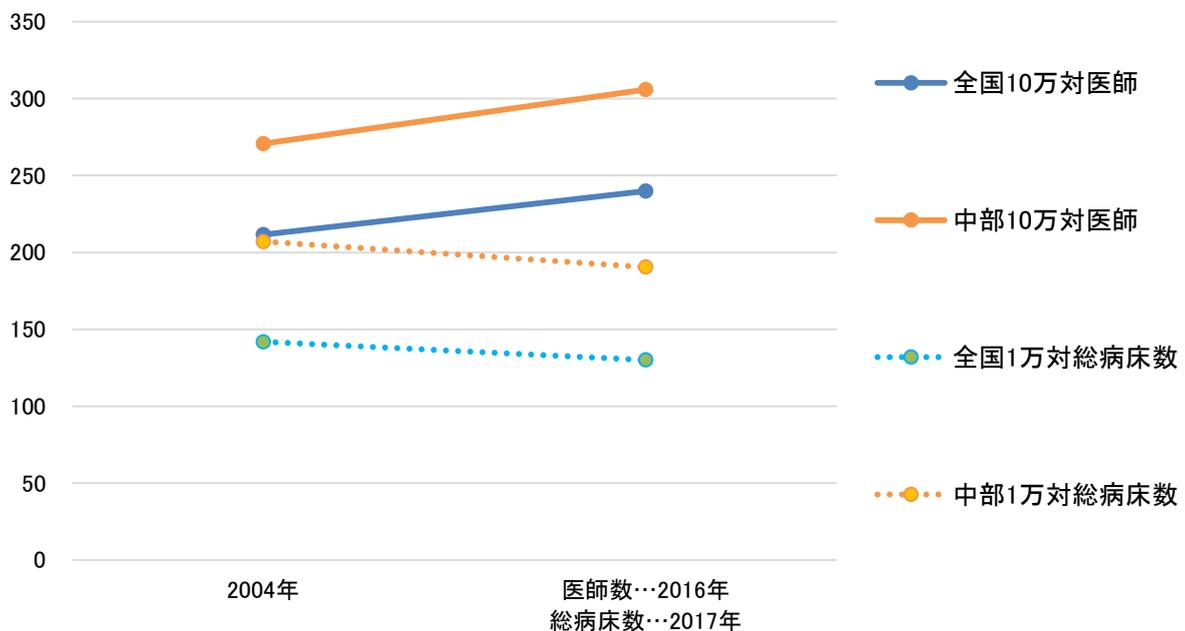
2004年の病院数が65(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2017年に62(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が430(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に458(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、28診療所が増加した。

2004年の総病床数が11,646床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2017年に10,843床(人口1万人当たり191(全国平均130)偏差値61)と、803床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

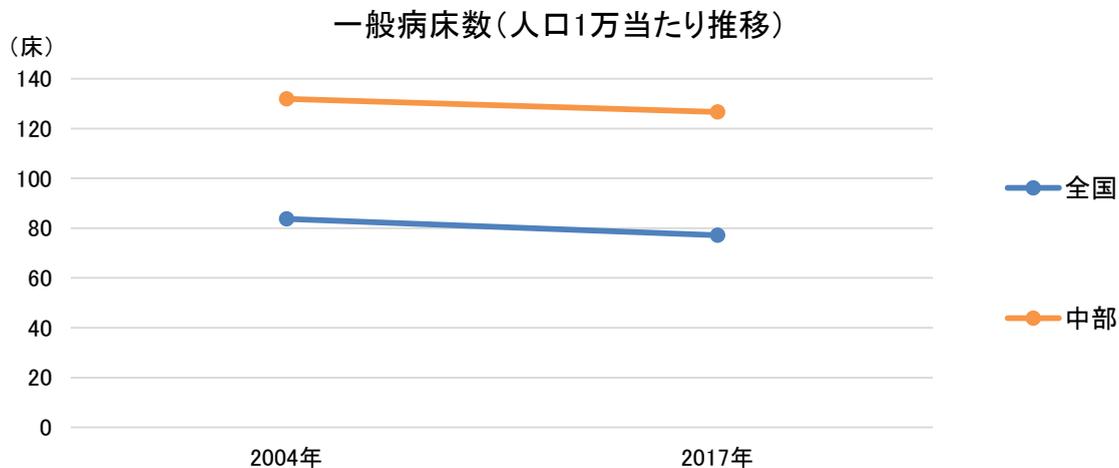
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,523人(人口10万人当たり271人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2016年に1,741人(人口10万人当たり306人(全国平均240人)偏差値57)と、218人の増加、率にして14%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



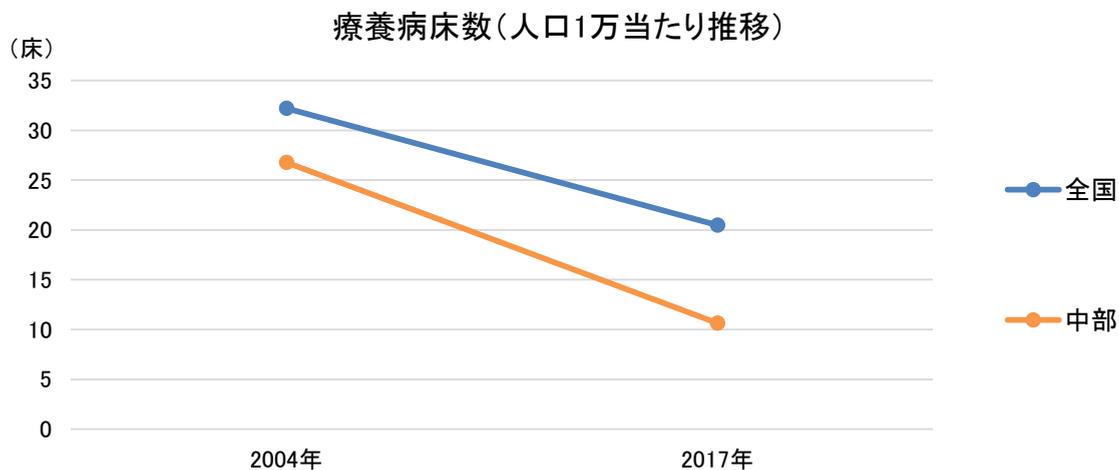
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,417床(人口1万人当たり132(全国平均84)偏差値67)であったが、2017年に7,207床(人口1万人当たり127(全国平均77)偏差値69)と、210床の減少、率にして3%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



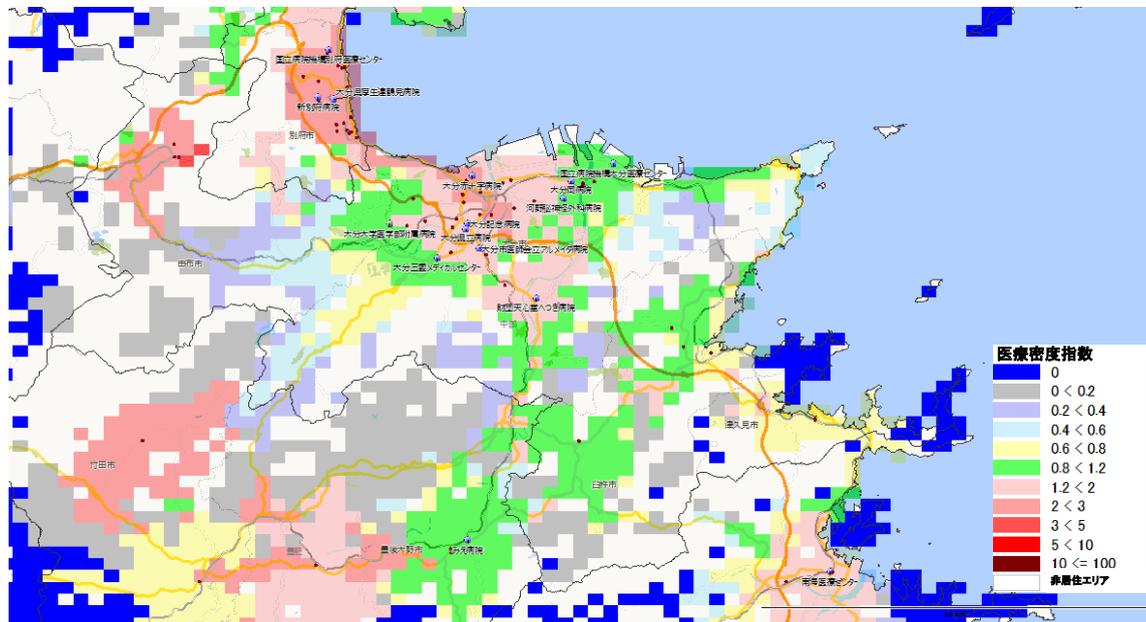
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,368床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に770床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、598床の減少、率にして44%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



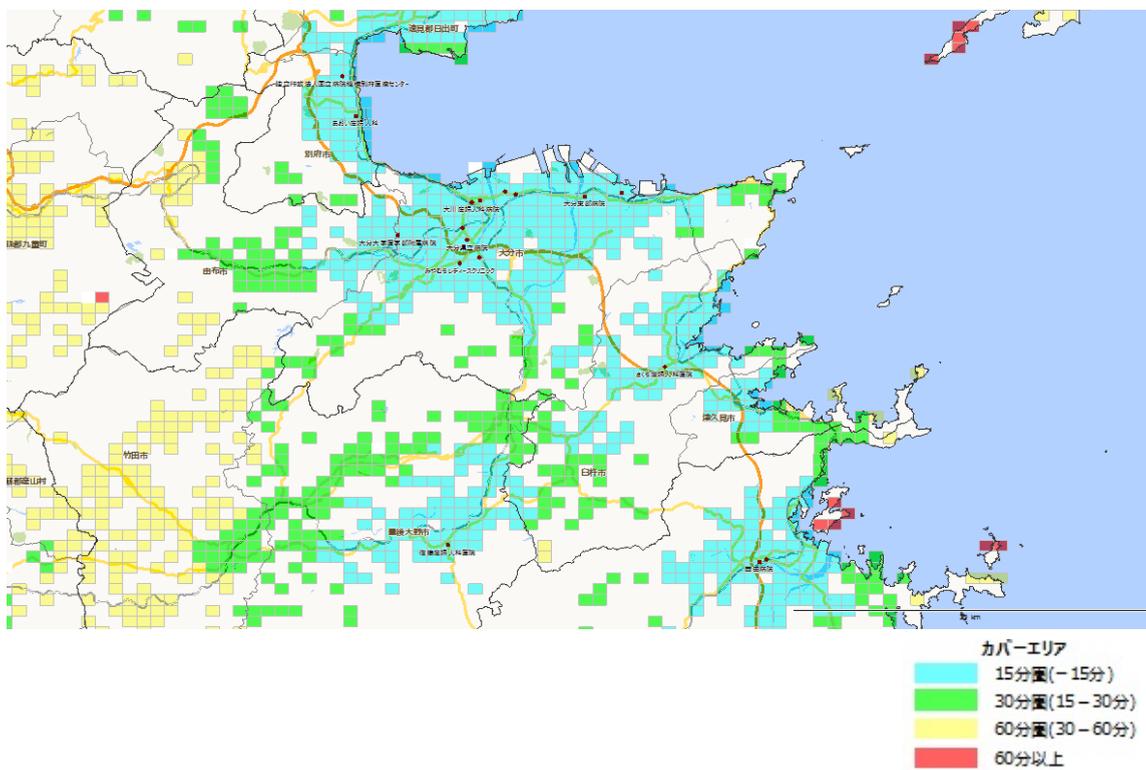
(中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

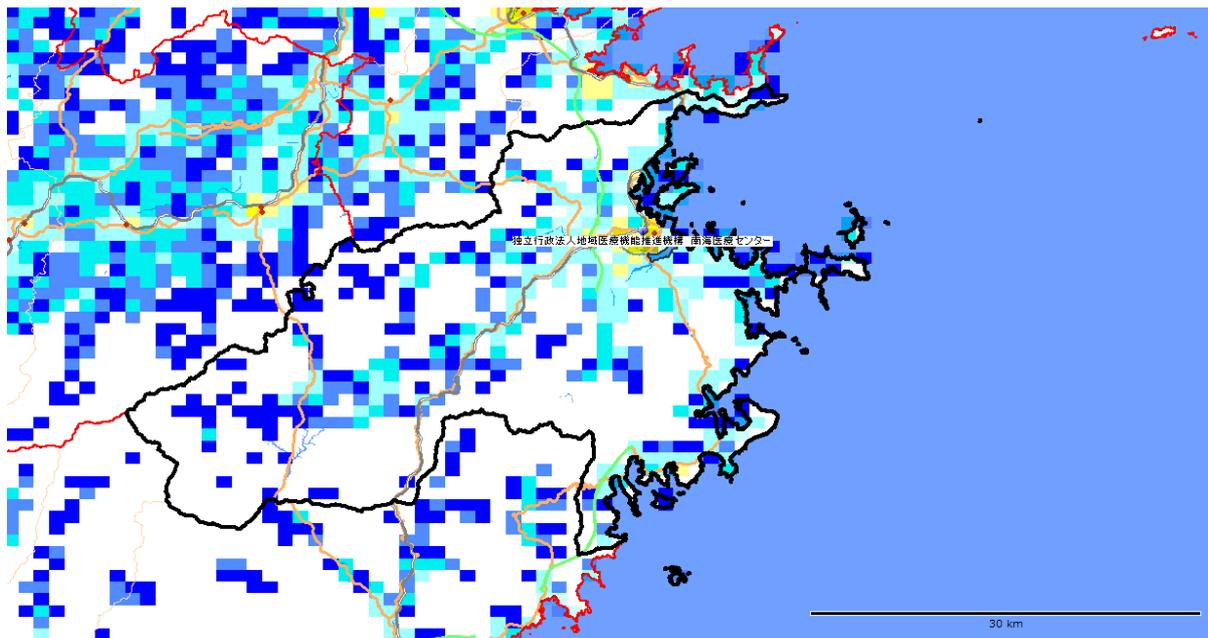


44-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村 [佐伯市](#)

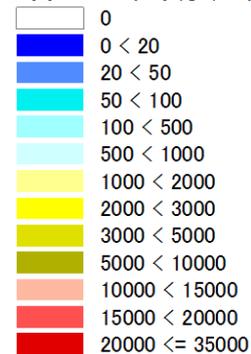
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(佐伯市)は、総人口約72千人(2015年)、面積903km²、人口密度は80人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は406千円(偏差値64)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.97で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値74と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,333人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が758床(偏差値43)、高齢者住宅等が575床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、966人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、258人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年80,297人が、2015年に72,211人と10%減少し、2025年の人口が62,020人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

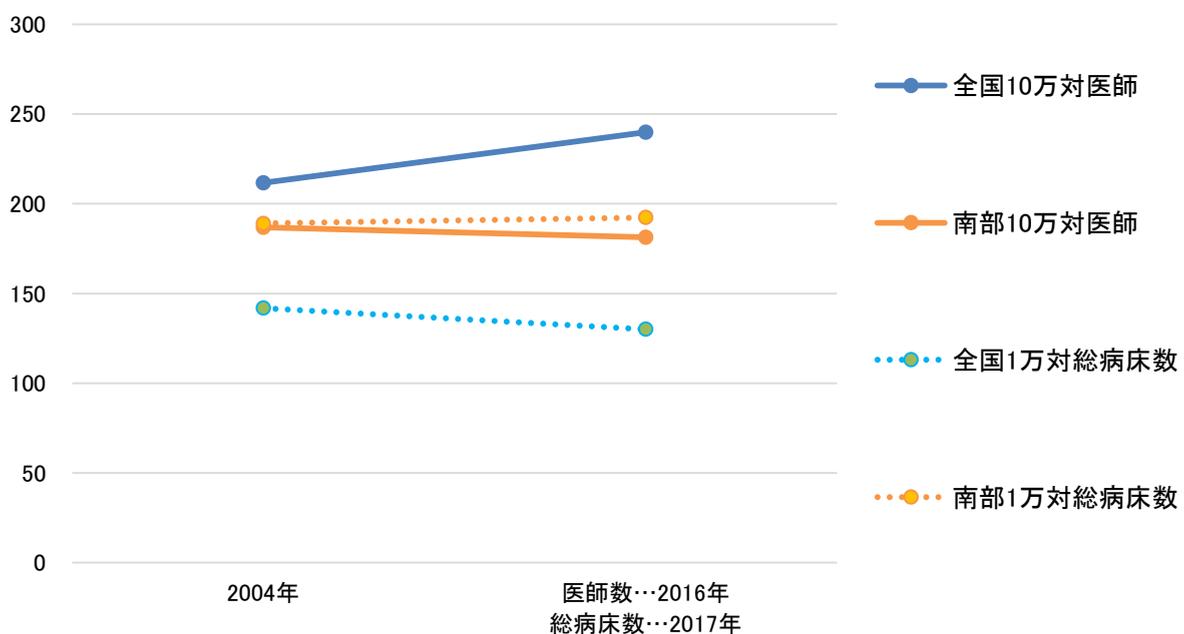
2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に8(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が63(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に60(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,518床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に1,389床(人口1万人当たり192(全国平均130)偏差値62)と、129床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

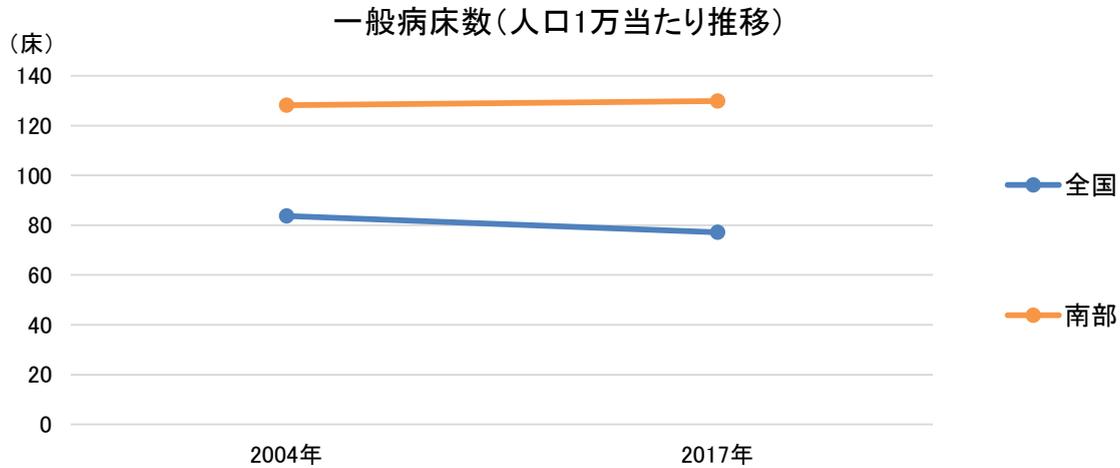
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が150人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に131人(人口10万人当たり181人(全国平均240人)偏差値43)と、19人の減少、率にして13%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



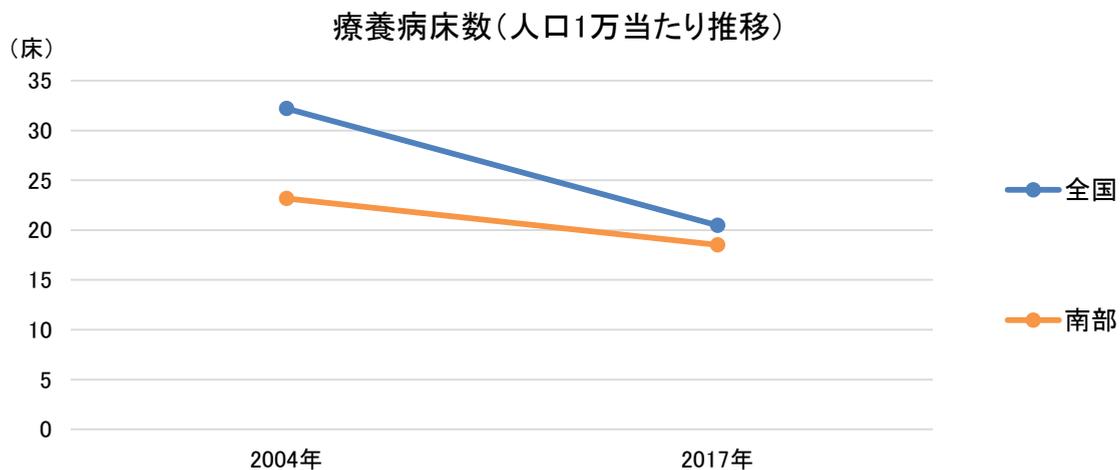
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,029床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2017年に938床(人口1万人当たり130(全国平均77)偏差値70)と、91床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



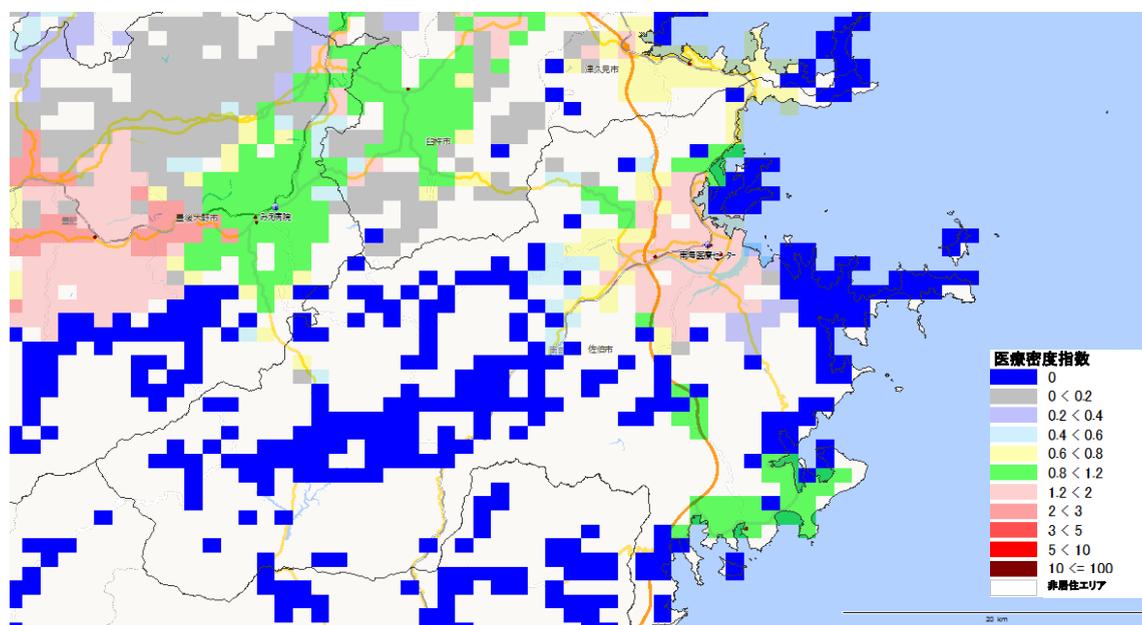
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が261床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に267床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値48)と、6床の増加、率にして2%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



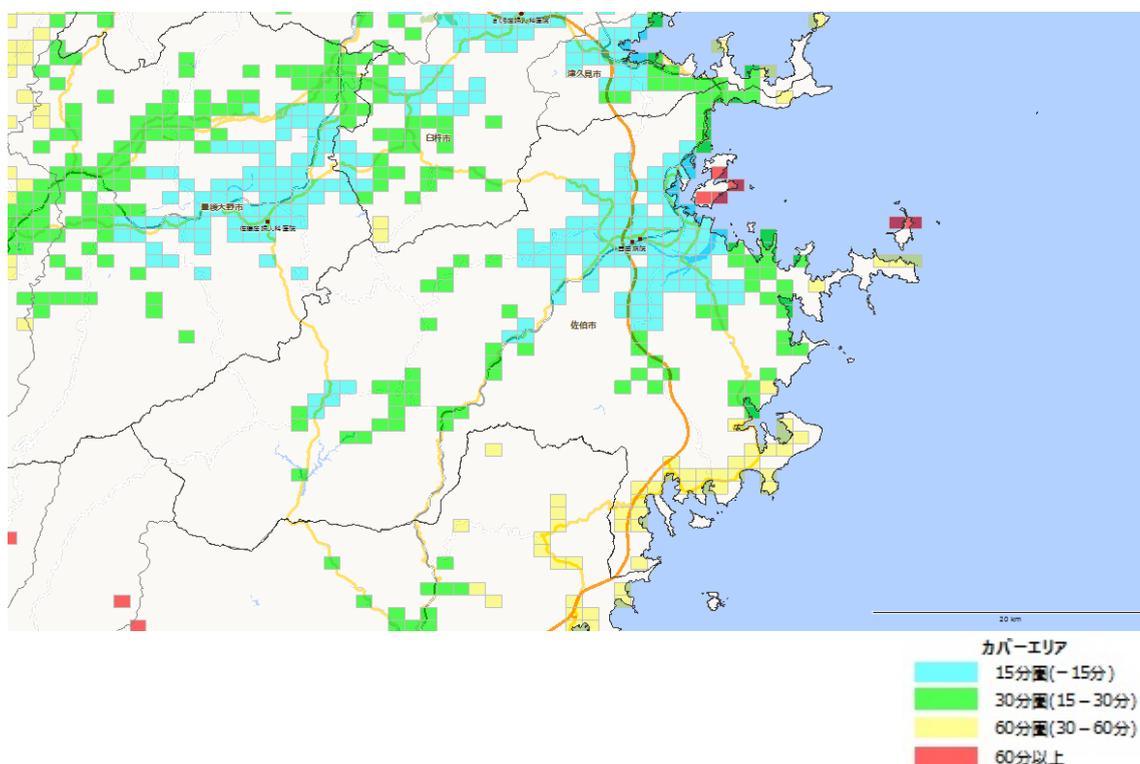
(南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

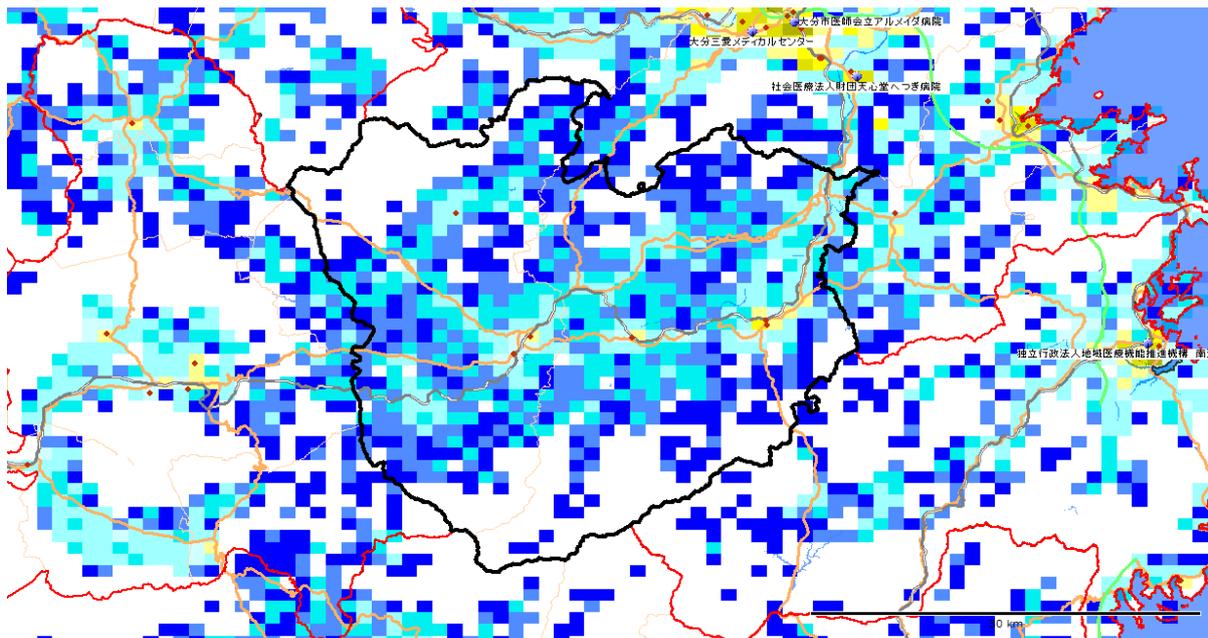
※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



44-4. ほうひ 豊肥医療圏

構成市区町村 [竹田市](#)[豊後大野市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群
 ● II群
 ● III群

● 一般病院

(豊肥医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 豊肥(竹田市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1,081km²、人口密度は55人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 豊肥の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 豊肥の一人当たり医療費(国保)は447千円(偏差値73)、介護給付費は315千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 豊肥の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は1.13で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数52)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,289人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,017床(偏差値55)、高齢者住宅等が272床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,066人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、155人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(豊肥医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

豊肥医療圏の総人口は、2005年68,082人が、2015年に58,916人と13%減少し、2025年の人口が49,359人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

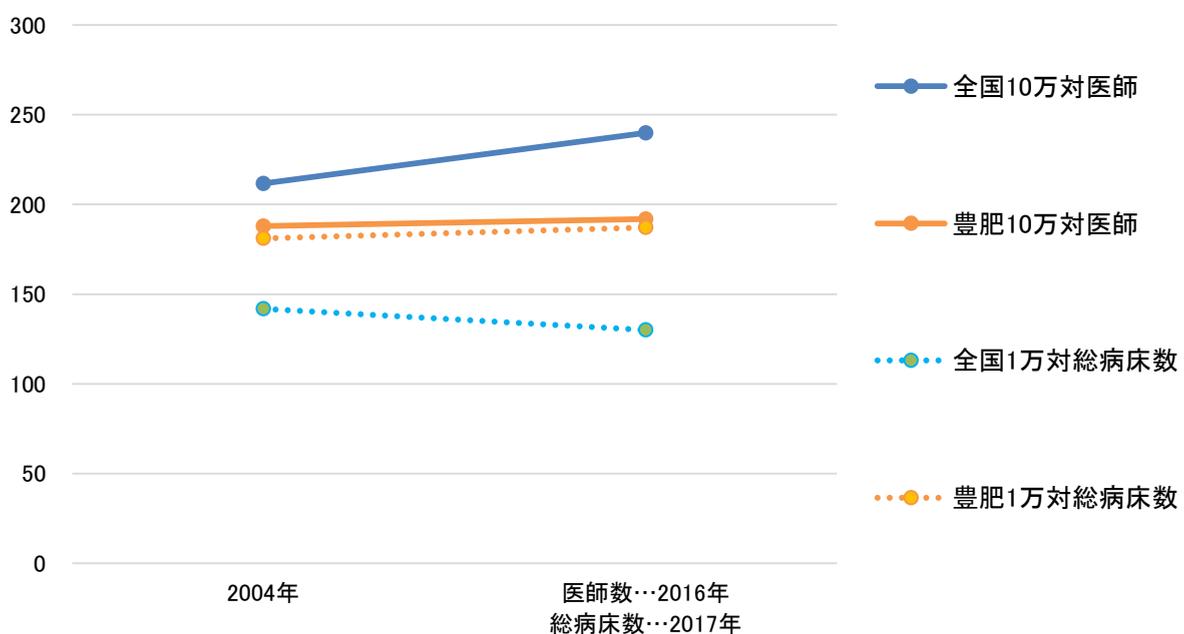
2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2017年に7(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値62)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に56(人口10万人当たり95診療所(全国平均80)偏差値58)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,233床(人口1万人当たり181(全国平均142)偏差値57)であったが、2017年に1,103床(人口1万人当たり187(全国平均130)偏差値61)と、130床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

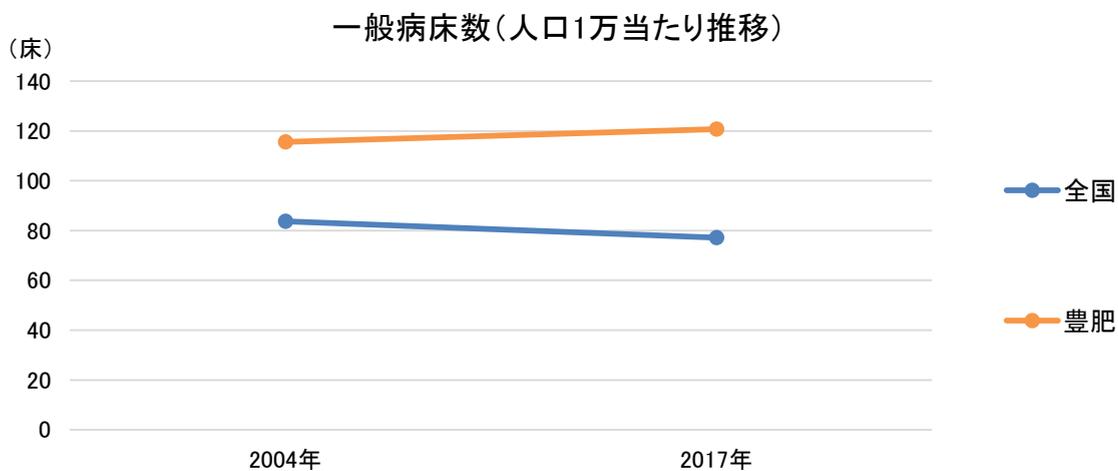
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が128人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に113人(人口10万人当たり192人(全国平均240人)偏差値45)と、15人の減少、率にして12%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



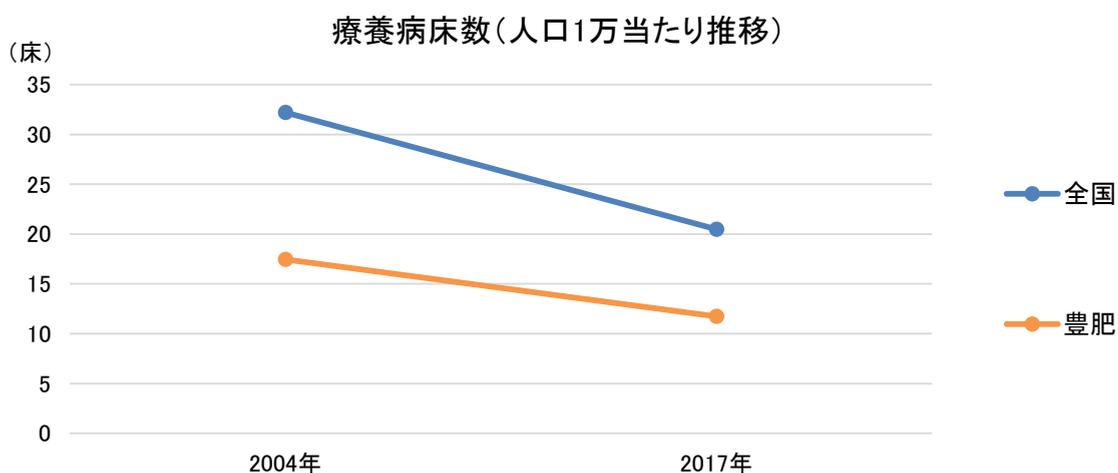
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が787床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2017年に711床(人口1万人当たり121(全国平均77)偏差値67)と、76床の減少、率にして10%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



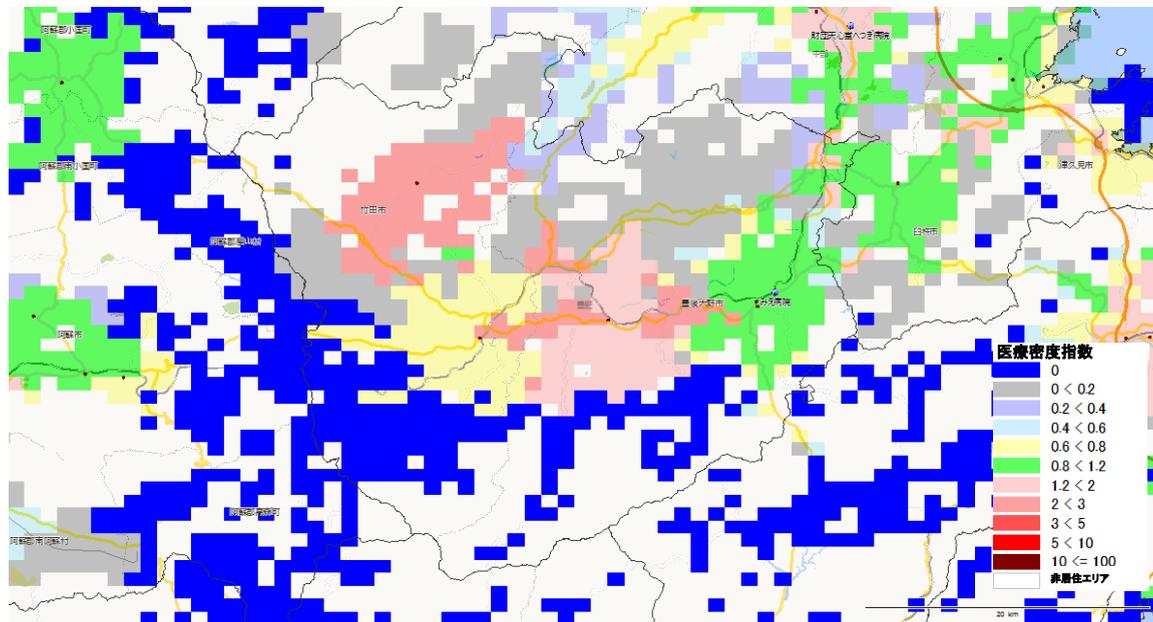
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が230床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に176床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、54床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



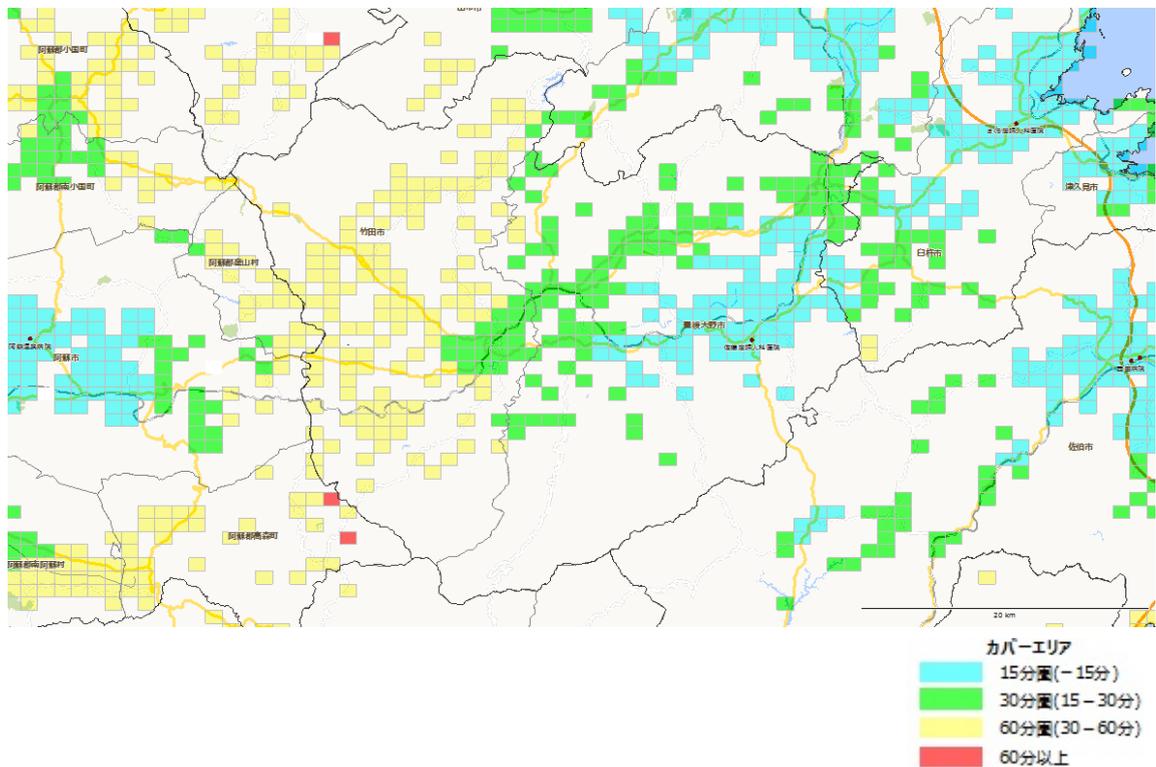
(豊肥医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

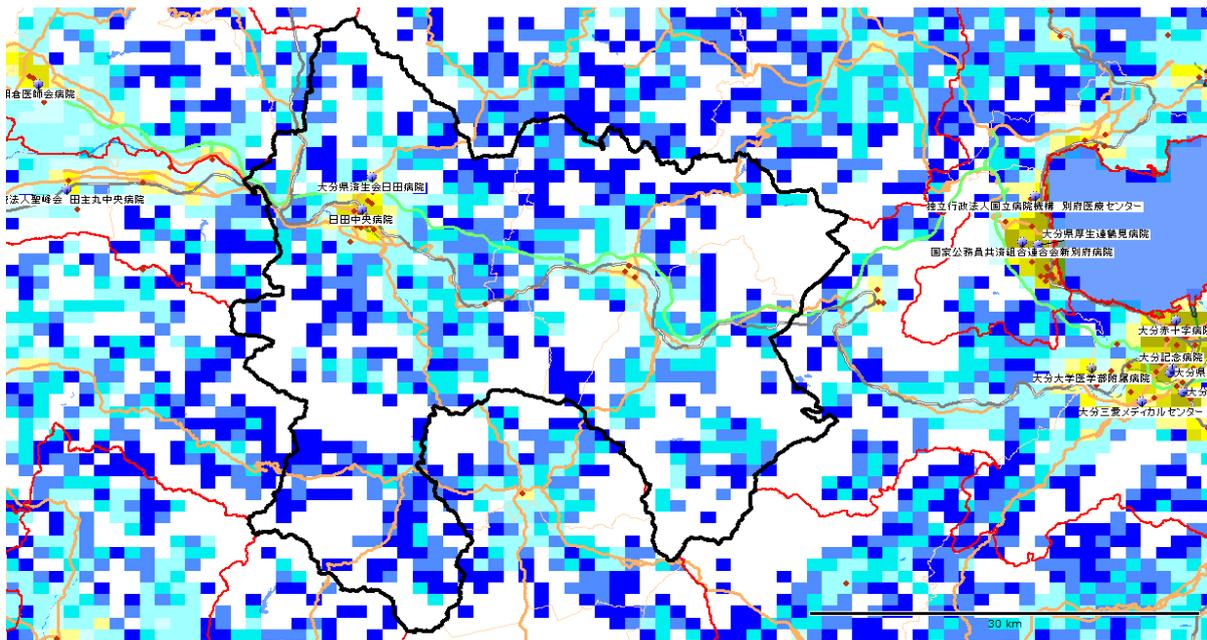


44-5. せいぶ西部医療圏

構成市区町村 [且田市](#) [九重町](#) [玖珠町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(日田市)は、総人口約92千人(2015年)、面積1,224km²、人口密度は75人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に59千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は400千円(偏差値62)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は1.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,300人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が996床(偏差値47)、高齢者住宅等が304床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,314人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住38である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値71と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、220人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年103,549人が、2015年に91,991人と11%減少し、2025年の人口が78,592人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

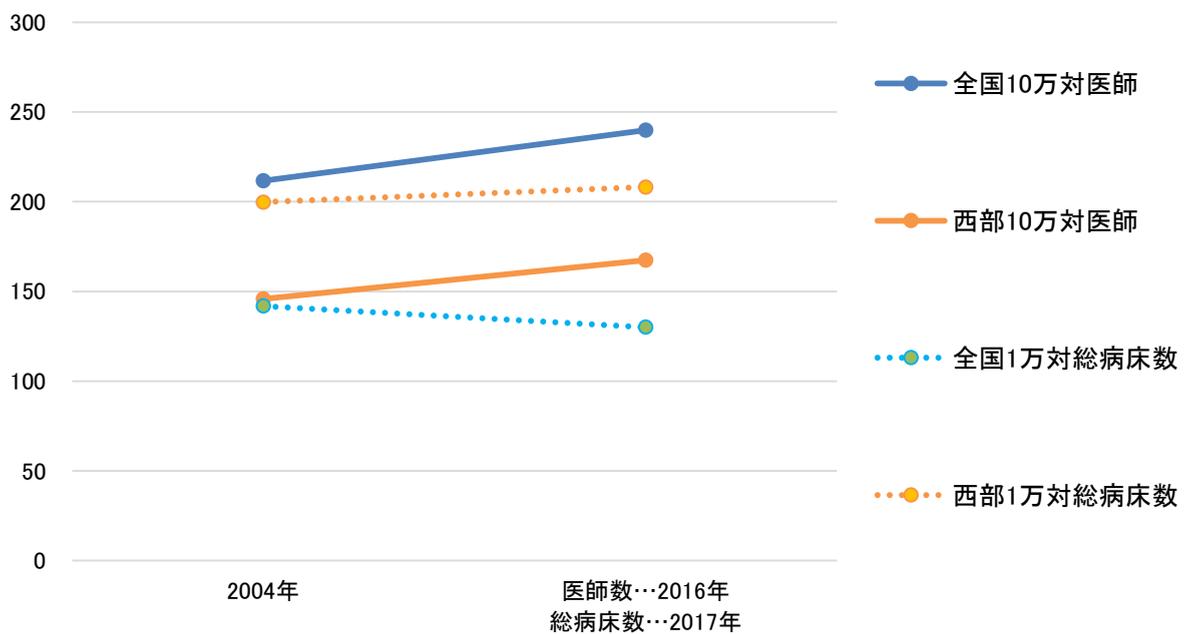
2004年の病院数が21(人口10万人当たり20.3病院(全国平均7.1)偏差値84)であったが、2017年に20(人口10万人当たり21.7病院(全国平均6.6)偏差値83)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に73(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値50)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,069床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に1,915床(人口1万人当たり208(全国平均130)偏差値65)と、154床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

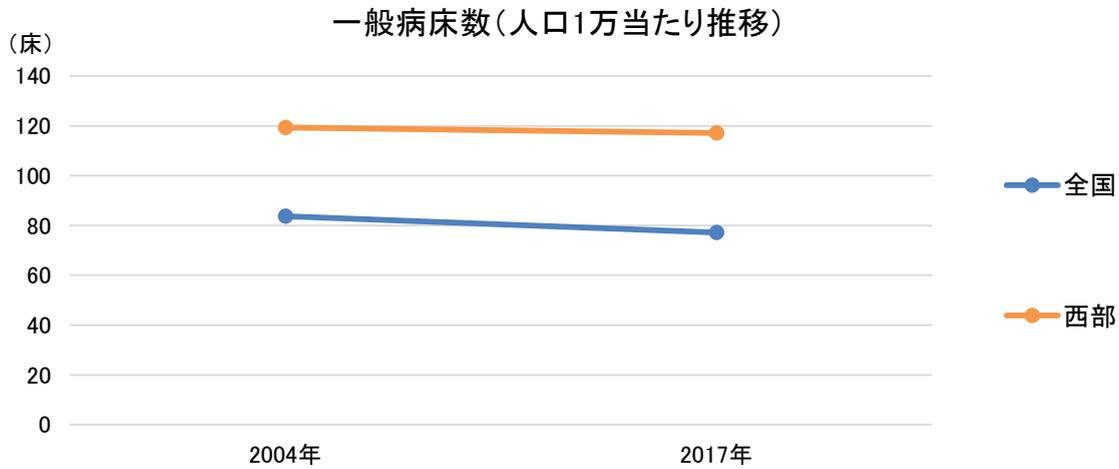
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に154人(人口10万人当たり167人(全国平均240人)偏差値42)と、3人の増加、率にして2%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



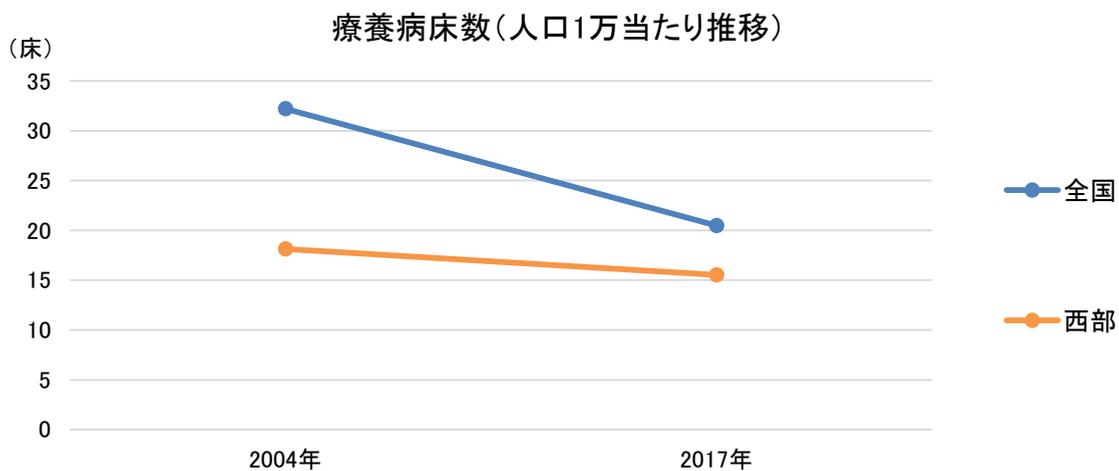
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,235床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2017年に1,077床(人口1万人当たり117(全国平均77)偏差値65)と、158床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



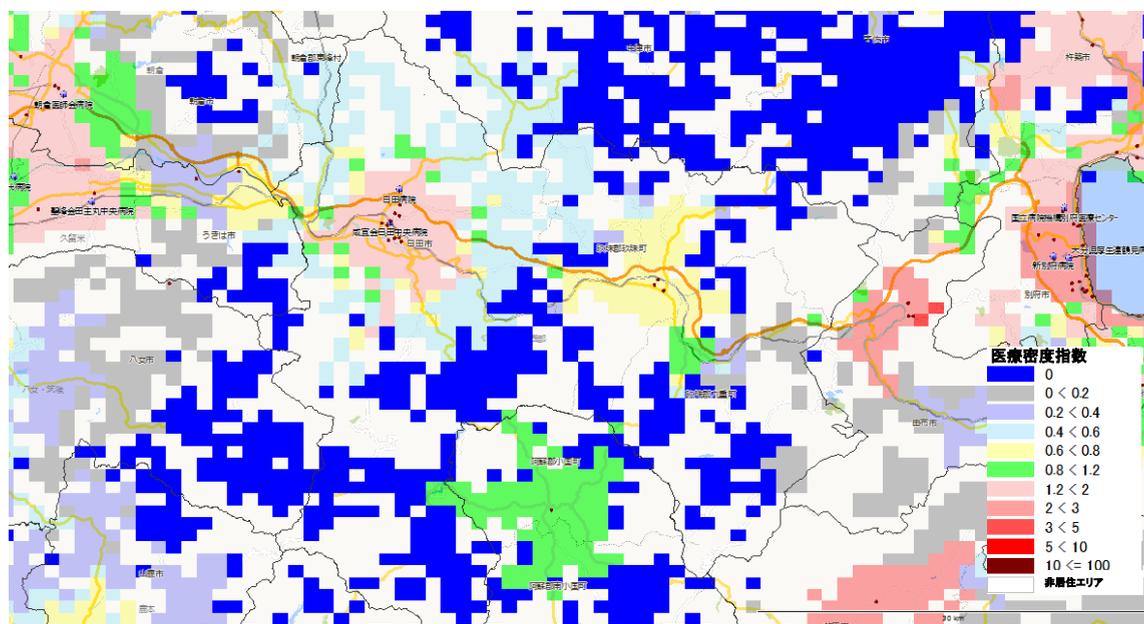
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が263床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に267床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、4床の増加、率にして2%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



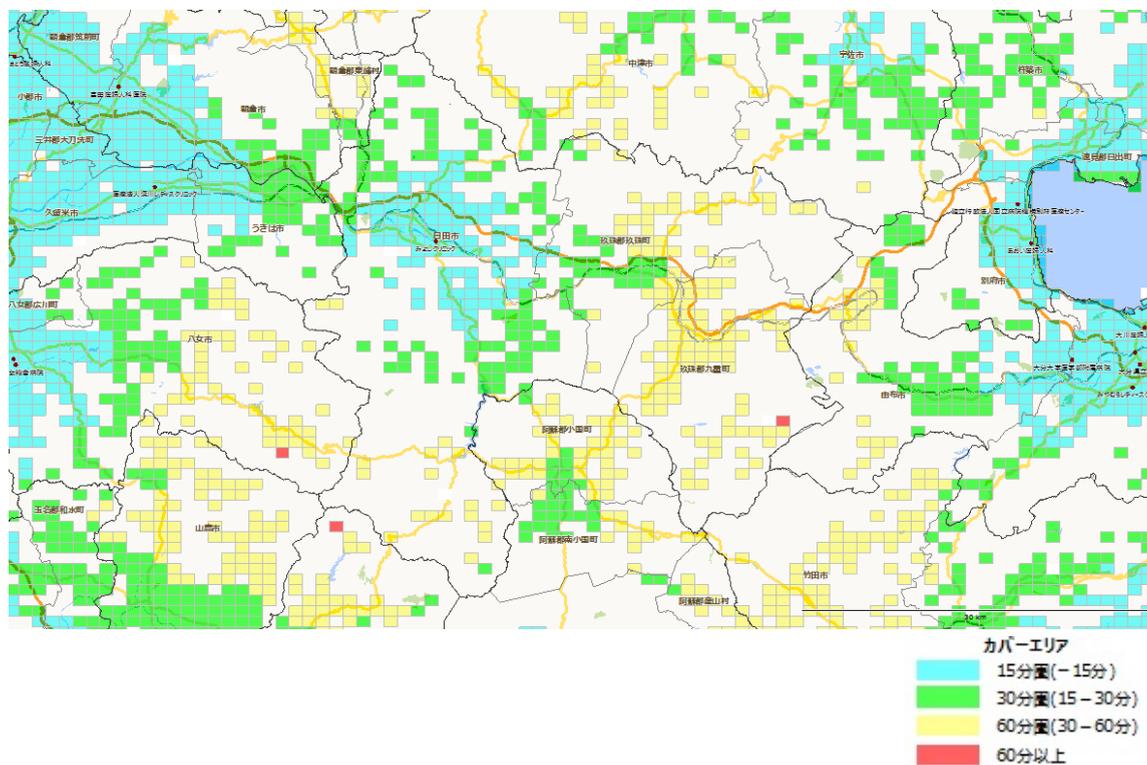
(西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

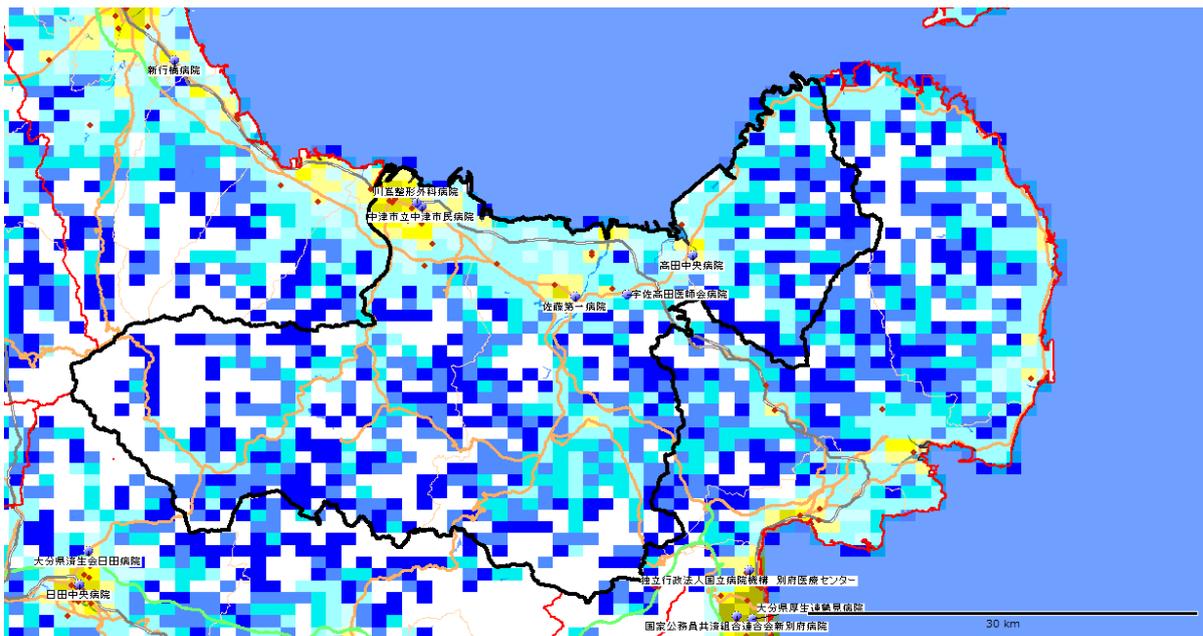


44-6. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村 [中津市](#) [豊後高田市](#) [宇佐市](#)

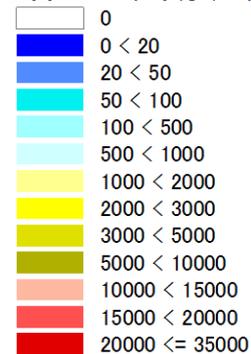
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(中津市)は、総人口約163千人(2015年)、面積1,137km²、人口密度は143人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に152千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に132千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には29千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値66)、介護給付費は256千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の中津市立中津市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,492人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,671床(偏差値49)、高齢者住宅等が821床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,990人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、365人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年170,291人が、2015年に163,076人と4%減少し、2025年の人口が151,513人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

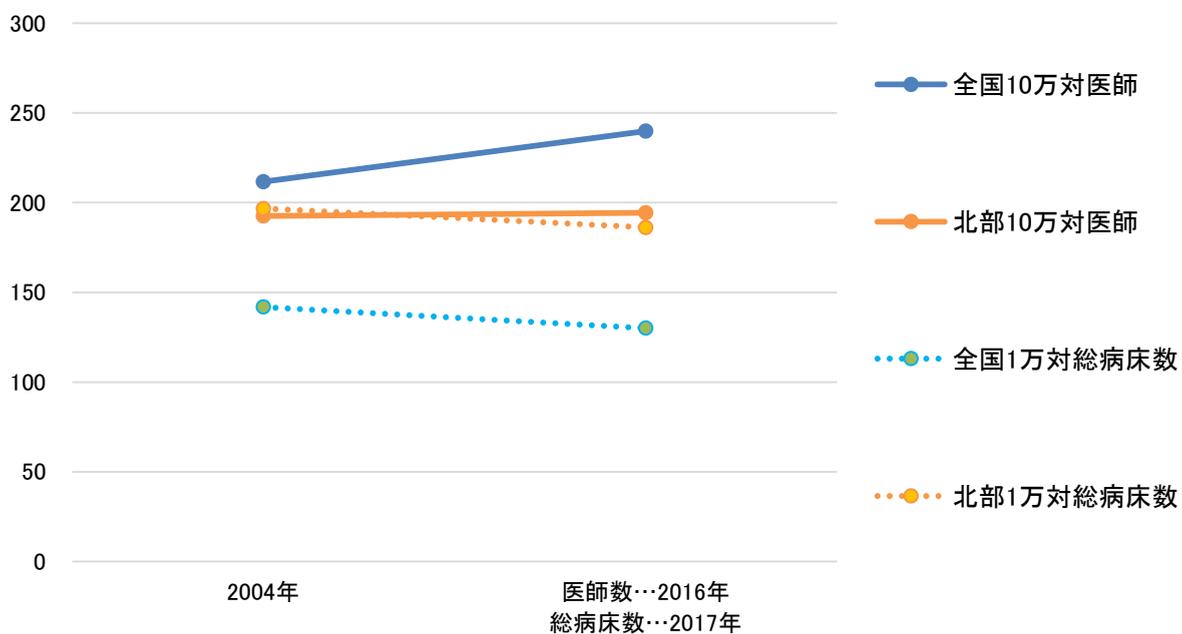
2004年の病院数が24(人口10万人当たり14.1病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2017年に24(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.6)偏差値68)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2017年に130(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,350床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に3,037床(人口1万人当たり186(全国平均130)偏差値60)と、313床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

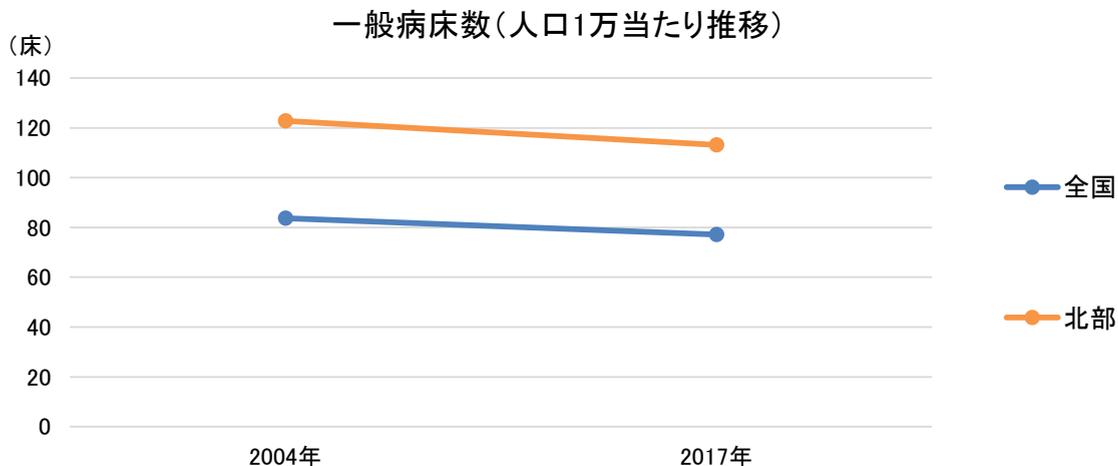
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が328人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2016年に317人(人口10万人当たり194人(全国平均240人)偏差値45)と、11人の減少、率にして3%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



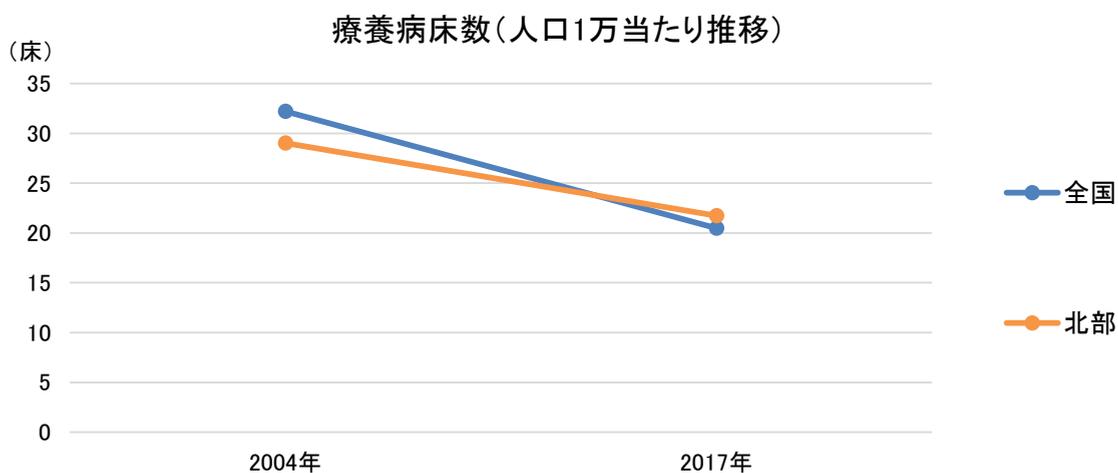
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,090床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2017年に1,846床(人口1万人当たり113(全国平均77)偏差値64)と、244床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



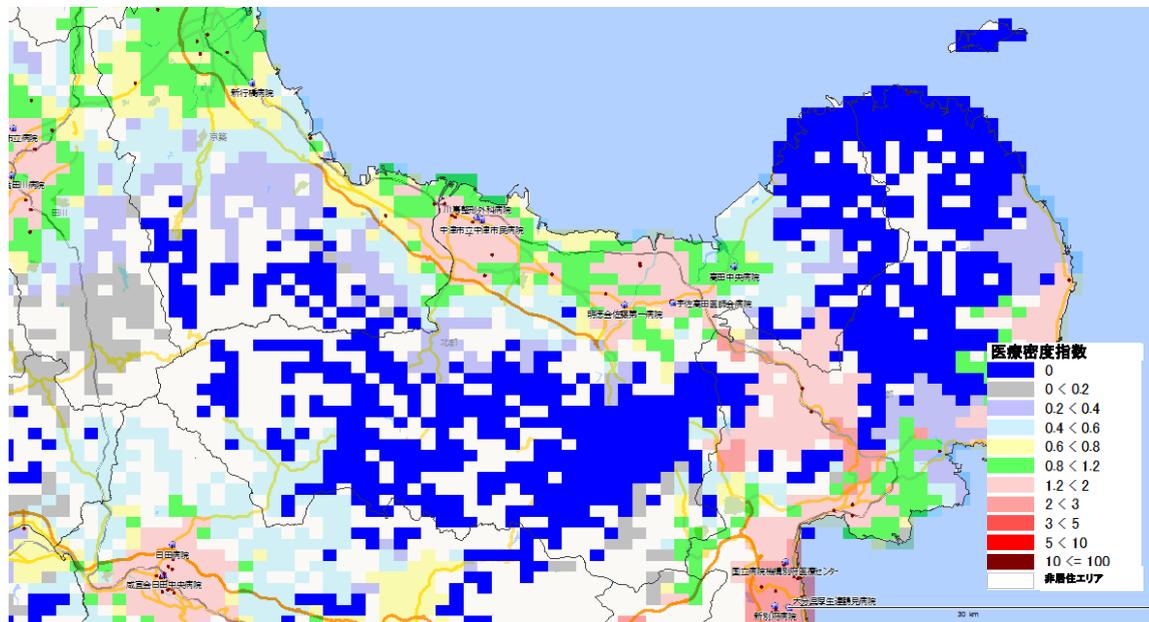
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が681床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2017年に599床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、82床の減少、率にして12%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

